HITATCHI

FLORA 220W NS3

(Microsoft® Windows® 98 Operating System)

4

使い勝手を良くする

マニュアルはよく読み、保管してください。

・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

このマニュアルの使い方

このマニュアルでは、パソコンを使いやすくする設定や、トラブルの解決方法を説明します。必要に応じてお読みください。

■「1 章　使い勝手を調節する」
パソコンを使いやすくする設定を説明します。

■「2 章　消費電力を節約する」
パソコンを使わない間、消費電力を節約する方法を説明します。

■「3 章　付属ソフトウェアの使い方」
付属ソフトウェアの設定方法や役割について説明します。

■「4 章　追加セットアップ」
ドライバーやアプリケーションを個別にセットアップする方法を説明します。

■「5 章　パソコン Q&A」
パソコンの調子がおかしいときや、わからないことがあったときにお読みください。また、『パソコンを準備する』の「トラブルを解決するときには」も、併せてお読みください。

マニュアルの表記について

重 要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。

マニュアル内で使用している画面およびイラストは一例です。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、一部省略している場合があります。

もくじ

1 章

使い勝手を調節する

この章では、ポインティングパッドやマウスの調整、ワンタッチキーの設定など、パソコンを使いやすくする方法を説明します。

ポインティングパッドを調整する

ダブルクリックの速度や、マウスポインターの動く速さなど、ポインティングパッドの設定を自分の使い方に合わせましょう。設定は、[マウスのプロパティ] で変更します。

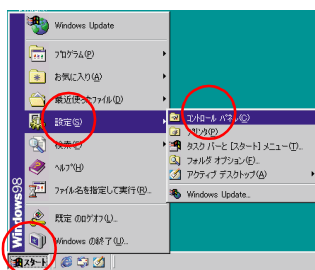
[マウスのプロパティ] を開く

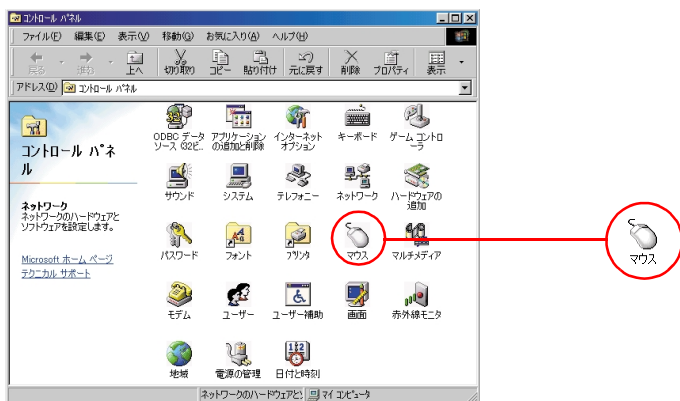
1 [スタート] ボタンをクリックする。

2 [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックする。

▼ [コントロールパネル] 画面が表示される。

3 [マウス] アイコンをダブルクリックする。

▼ [マウスのプロパティ] 画面が表示される。

ヒント

★ マウスのドライバーをホイールマウスドライバーなどに変更している場合は、ポインティングパッドの設定はできません。

[マウスのプロパティ] で調節できる主な設定

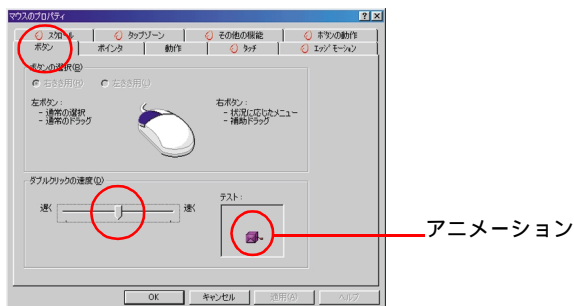
- クリックボタンの左右の機能を入れ替えたり、ほかの機能を割り当てる
  ([ボタンの動作] タブ)
- ダブルクリックの速度を変える ([ボタン] タブ)
- マウスカーソルの速度を変える ([動作] タブ)
- キー入力時、ポインティングパッドによる誤動作を防ぐ ([タッチ] タブ)

ダブルクリックの速度を変える

1 **[マウスのプロパティ] の [ボタン] タブをクリックする。**

2 **ダブルクリックの速度のを [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。**

3 **アニメーションの上にカーソルを移動させ、ダブルクリックする。**

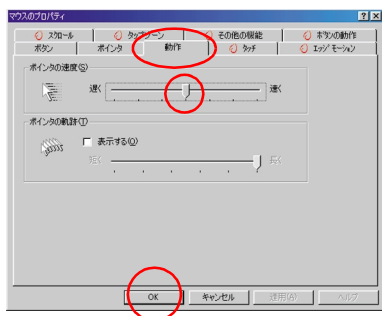
▼変更した速さでダブルクリックすると、アニメーションが変わる。

4 **[OK] ボタンをクリックする。**

▼ダブルクリックの速度が変わる。

マウスポインターの動く速さを変える

1 [マウスのプロパティ] の [動作] タブをクリックする。

2 [ポインタの速度] の を [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。

▼ マウスポインターの動く速さが変わります。

3 [OK] ボタンをクリックする。

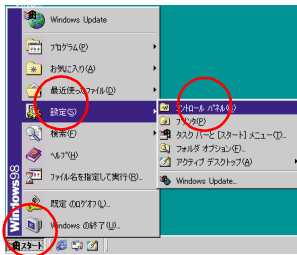
▼ 指定したマウスポインターの動く速さに設定される。

マウスを調整する

マウスのダブルクリックの速度、マウスポインターの動く速さを変更しましょう。ここでは、マウスのドライバーをホイールマウスドライバーに変更している場合を例に説明します。マウスの調整は、標準のタッチパッドドライバーでもできます。このときは、「ポインティングパッドを調整する」をご参照ください。

ダブルクリックの速度を変える

マウスのダブルクリックの速度、マウスポインターの動く速さを変更しましょう。

1 [スタート] ボタンをクリックする。

2 [設定] をポイントする。

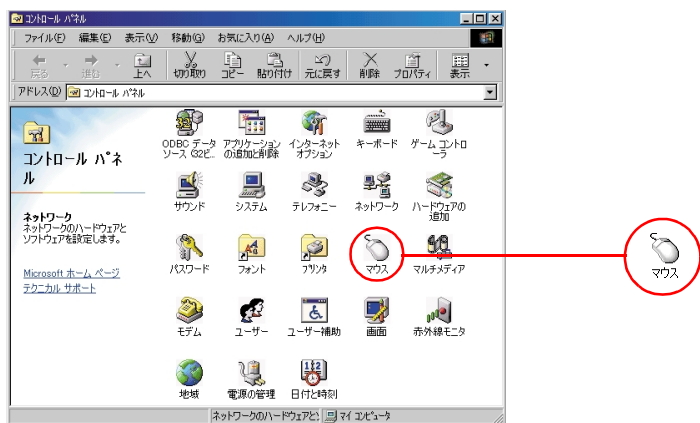
3 [コントロールパネル] をクリックする。

▼ [コントロールパネル] 画面が表示される。

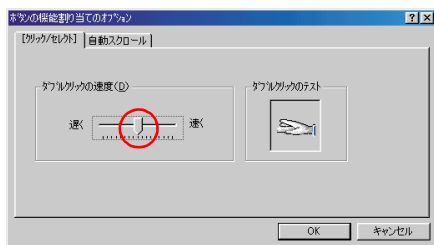
参照

マウスの使い方→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなそう』2 章の「マウス、テンキーボード」「操作方法」

4 [マウス] アイコンをダブルクリックする。

▼ [マウスのプロパティ] 画面が表示される。

5 [ボタン] タブをクリックし、[オプション] ボタンをクリックする。

▼ [ボタンの機能割り当てのオプション] 画面が表示される。

6 [ダブルクリックの速度] の を [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。

7 [ダブルクリックのテスト] の枠内をダブルクリックする。

▼ 変更した速度内でダブルクリックすると、模様が変わります。

8 [OK] ボタンをクリックする。

▼ダブルクリックの速度が変わる。

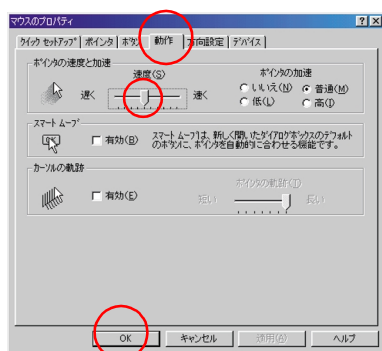
マウスポインターの動く速さを変える

マウスを動かしたときのマウスポインターの動く速さを変えることができます。

1 [マウスのプロパティ] 画面を表示する。

2 [動作] タブをクリックする。

3 [ポインタの速度と加速] のを [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。

▼マウスポインターの動く速さが変わる。

4 [OK] ボタンをクリックする。

▼指定したマウスポインターの動く速さに設定される。

ディスプレイの表示を変える

ここではディスプレイの明るさや表示を変更する方法を説明します。

ディスプレイの明るさを変える

暗くする

■[Fn]+[F6](☼−)

[Fn] キーを押しながら、[F6] キーを押すと画面が暗くなります。押すたびに暗くなります。

明るくする

■[Fn]+[F7](☼+)

[Fn] キーを押しながら、[F7] キーを押すと画面が明るくなります。
押すたびに明るくなります。

ヒント

★ **暗くするとバッテリーの消費が少なくなり、明るくするとバッテリーの消費が多くなります。**

ディスプレイの表示を変える

ディスプレイの表示を細かく設定することで見やすく目の疲れにくい画面表示にできます。設定は、[画面のプロパティ] で行います。

[画面のプロパティ] の開き方

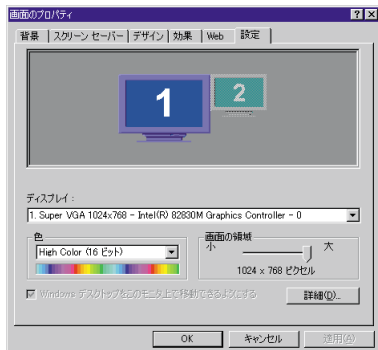
1 「スタート] ボタン－[設定] －[コントロールパネル] をクリックする。

▼ [コントロールパネル] が開く。

2 [画面] アイコンをクリックする。

▼ [画面のプロパティ] が表示される。

画面の領域、色、フォントの設定

1 **[画面のプロパティ] の [設定] タブで、画面の領域や色を設定する。フォントサイズについては、[詳細]ボタンをクリックしてプロパティーを開き、[全般] タブで設定する。次の表の組み合わせに従い、[適用] ボタン、[OK] ボタンをクリックする。**

画面の領域	色 *1	フォントサイズ
640 × 480	256 色 High Color (16 ビット) True Color (32 ビット)	小さいフォント
800 × 600 1024 × 768 1280 × 1024 *2	256 色 High Color (16 ビット) True Color (32 ビット)	小さいフォント 大きいフォント カスタムフォント

＊1:中 (16 ビット) は 65536 色、最高 (32 ビット) は 1677 万色です。ただし、ディスプレイによっては最高 (32 ビット) に設定しても実際は 1677 万色以下になります。
＊2:外付けディスプレイのみサポート

2 **以降、表示されるメッセージに従って操作する。**

▼画面の表示モードが設定される。

・DirectX 対応のアプリケーションをインストールすると、ディスプレイアダプターが Windows 標準のものに置きかわることがあります。このときは、元のディスプレイアダプターに戻してください。
・表示モードによってはディスプレイの表示領域の位置やサイズが異なります。ディスプレイ側で画面を調節してください。調節の方法については、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。
・アプリケーションによっては、スクロールしたりウィンドウの移動を行ったりしたときに表示の一部が欠けたり乱れたりすることがあります。この時は、再描画してください。
・パソコンのディスプレイと外付けのディスプレイに同時表示する場合、いずれのディスプレイもパソコン側の最大領域（1024 × 768）に設定してご使用ください。

重要

◎ 設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと、正しく動作しないことがあります

ヒント

★ [背景] タブでデスクトップの壁紙を変更できます。

・3D 対応のアプリケーションをご使用の場合は、表示色を High Color(16 ビット) に設定してご使用ください。

リフレッシュレートの設定

外付けディスプレイにのみ表示して使用しているときは、必要に応じて外付けディスプレイのリフレッシュレートを設定できます。リフレッシュレートとは、1 秒間にディスプレイの画面を書き換える回数を指します。この数値が高いほどちらつきが少なく、目に負担を与えない画面表示になります。ディスプレイが対応していないリフレッシュレートには設定しないでください。

1 **[画面のプロパティ] の [設定] タブで、[詳細] ボタンをクリックし、プロパティーを開く。**

2 **[アダプタ] タブの [リフレッシュレート] でリフレッシュレートを選択し、[適用] ボタンをクリックする。**

リフレッシュレートの詳細な設定についてはディスプレイに付属のマニュアルをご参照ください。

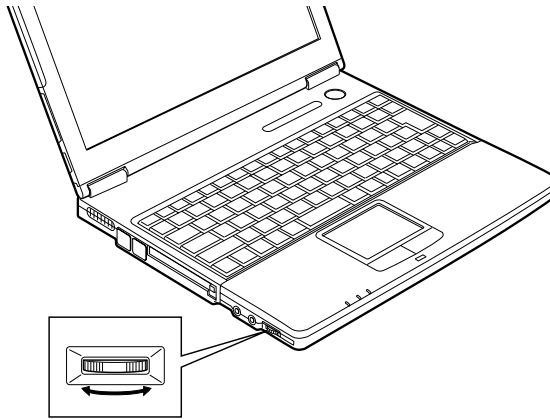
◎ 同時表示（Dual Display Clone)、複数表示（Extend Desktop）で表示する場合は、リフレッシュレートを [アダプタの既定値] でお使いください。

◎ 外付け液晶ディスプレイを使用する場合は、リフレッシュレートを [60Hz] に設定しておいてください。

音量を調整する

ここでは内蔵スピーカーの音量を調整する方法を説明します。外部スピーカーを接続している場合は、外部スピーカーのマニュアルもあわせてご参照ください。

スピーカーボリュームを使って調整する

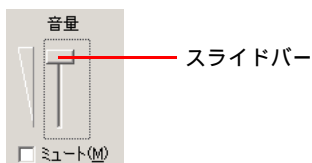
パソコンのスピーカーボリュームを回転させて、音量を調整できます。
左に回すと音量が上がり、右に回すと音量が下がります。

ヒント

★ スピーカーボリュームを一番右まで回すと、音は出ません。

[音量] アイコンで調整する

1 タスクバーの [音量] アイコンをクリックする。

▼ [音量] を調整するスライドバーが表示される。

2 スライドバーを上下にドラッグして、音量を調整する。

ヒント

★ [ミュート] にチェックマーク (☑) が付いていると、音が鳴りません。

[Volume Control] で調整する

Windows の [Volume Control] を使うと、CD プレーヤーの音量や、録音レベルも調整できます。

1 タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックする。

▼ [Volume Control] 画面が表示される。

ヒント

★ [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [エンターテイメント] － [ボリュームコントロール] の順にクリックしても、[Volume Control] 画面が表示できます。

2 音量やバランスを調整したい箇所のスライドバーをドラッグする。

★ [ミュート] にチェックマーク (☑) が付いていると、音が鳴りません。

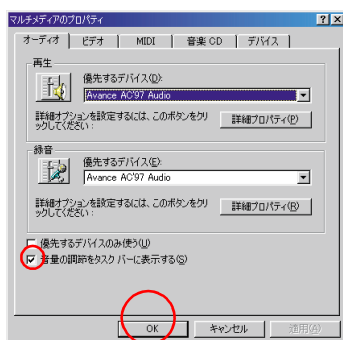
タスクバーに [音量] アイコンが表示されていないときは

1 [スタート] ボタン−[設定]−[コントロールパネル] をクリックする。

▼ [コントロールパネル] が表示される。

2 [マルチメディア] をダブルクリックする。

▼ [マルチメディア] 画面が表示される。

3 [オーディオ] タブの [音量の調節をタスクバーに表示する] にチェックマークを付け、[適用] ボタンを押す。

4 [OK] ボタンをクリックする。

マイクの感度を調整する

1 [Volume Control] の [オプション] − [トーン調整] をクリックする。

2 マイクの [トーン] をクリックする。

▼ [マイクの詳細設定] 画面が表示される。

3 マイクの感度を高くする場合は、[1 MIC Boost(1)] にチェックを入れる。低くする場合は、チェックを外す。

ヒント

★ 外部マイクを接続する必要があります。

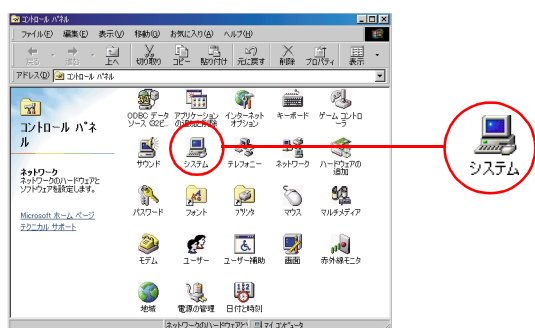
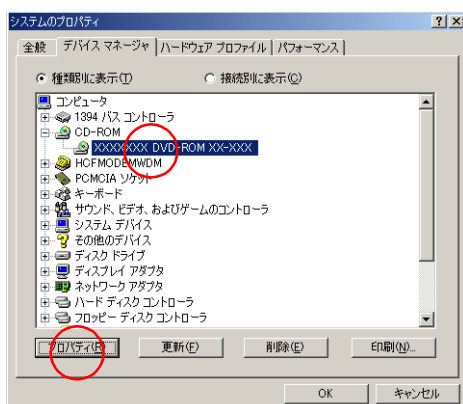
CD/DVD ドライブを設定する

CD/DVDなどのディスクを自動的に再生する

CD/DVD などのディスクをドライブにセットすると、自動的に再生されるようにしましょう。ご購入時の設定は、自動で再生される設定になっています。

1 [コントロールパネル] を表示する。

2 [システム] アイコンをダブルクリックする。

▼ [システムのプロパティ] 画面が表示される。

3 [デバイスマネージャ] タブをクリックする。

4 [CD-ROM] をダブルクリックする。

5 CD-ROM ドライブ名をクリックする。

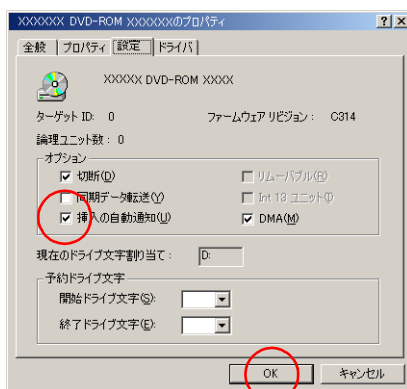
6 [プロパティ] ボタンをクリックする。

▼CD-ROM などのプロパティーの画面が表示される。

7 [設定] タブをクリックする。

8 [挿入の自動通知] をクリックし、□ を☑ にする。

9 [OK] ボタンをクリックする。

ヒント

★ ☑のときは、そのままにします。

DVD-Video を再生する

(DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ内蔵パソコンの場合)

このパソコンで DVD-Video を再生するには、DVD 再生ソフトウエアが別途必要です。

DMA 転送モード

DVD-ROM ドライブの DMA 転送モードを使用すると、DVD-Video の再生能力が向上します。DVD-Video の再生をする前に、次の手順で DMA 設定を変更してください。

1 **コントロールパネルの [システム] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [システムのプロパティ] 画面が表示される。

2 **[デバイスマネージャ] タブの [CD-ROM] をダブルクリックする。**

3 **接続されている DVD-ROM ドライブの名称をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする。**

▼ プロパティーが表示される。

4 **[設定] タブの [DMA] にチェックをつける。**

▼ [サポートされていないハードウエアの注意] 画面が表示される。

5 **[OK] ボタンをクリックする。**

6 **[OK]、[閉じる] の順にボタンをクリックする。**

▼ [システム設定の変更] 画面が表示される。

7 **[はい] ボタンをクリックする。**

▼ Windows が立ち上げ直される。

ヒント

★ **DVD 再生ソフトウェアは、このパソコンのお買い求め先、またはパソコンショップでご購入ください。**

重要

◎ **DVD-Video によっては正常に再生されない場合があります。**

ヒント

★ **標準では、地域コード 2（日本）に設定されています。地域コード 2 の DVD-Video をご使用ください。**

★ **DVD-ROM&CD-R/RW ドライブの地域コードは変更することができます。他の地域コードを持つ DVD-Video を再生する場合は、DVD 再生ソフトウエア付属のマニュアルをご参照ください。**

重要

◎ **地域コードの変更回数は最大 4 回です。4 回設定を変更すると、それ以降変更ができなくなり、設定以外の地域コードを持つ DVD-Video は再生できなくなります。**

地域コード

DVD-Video と DVD-ROM&CD-R/RW ドライブには、再生可能地域を限定する地域コード (Region Code) が設定されています。DVD-ROM&CD-R/RW ドライブと DVD-Video の地域コードが同じ設定でないと、DVD-Video を再生することはできません。

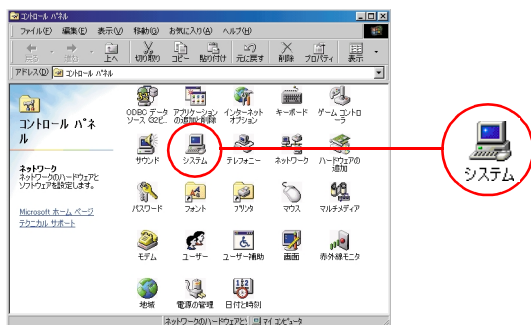
システムの設定を確認する

パソコンのメモリー容量や CPU などを確認しましょう。

Windows のバージョンやメモリー量を確認する

1 [コントロールパネル] 画面を表示する。

2 [システム] アイコンをダブルクリックする。

▼ [システムのプロパティ] 画面が表示される。

3 システムの設定を確認する。

4 [OK] ボタンをクリックする。

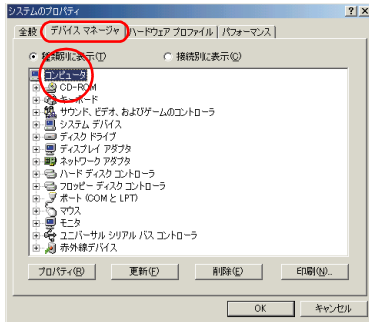
ヒント

★ ビデオメモリとして一部消費しますので、メモリ容量は実際よりも少なく表示されます。

割り込み要求（IRQ）や I/0 ポートアドレスを確認する

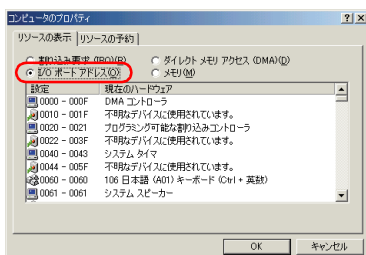
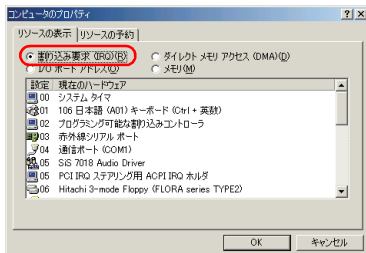
1 [システムのプロパティ] を表示する。

2 [デバイスマネージャ] タブをクリックする。

▼画面が切り替わる。

3 [コンピュータ] をダブルクリックする。

▼ [コンピュータのプロパティ] 画面が表示される。

4 [割り込み要求（IRQ）] または [I/0 ポートアドレス] をクリックする。

▼選んだ項目の設定がリスト表示される。

ヒント

★ IRQ の設定は BIOS でも設定できます。
BIOS Setup の Security の Device Configuration の各項目が Enabled の場合、BIOS Setup の Advanced の PCI Configration で設定できます。

パスワードで保護する

ここではパスワードの設定方法を説明します。必要なときにだけ設定してください。パスワードを設定すると、正しいパスワードを入力した人だけがパソコンを立ち上げたり、BIOS メニューの内容を変更したりできます。パスワードは BIOS メニューで設定します。

■設定できるパスワード

・Supervisor Password
パソコンを立ち上げるときやBIOSメニューを立ち上げるときにパスワードを入力します。BIOS メニューのすべての設定を変更できます。

・User Password
パソコンを立ち上げるときやBIOSメニューを立ち上げるときにパスワードを入力します。Supervisor Passsword を設定したあとで設定できます。
BIOS メニューでは、次の設定を変更できません。

[Main] 画面	[System Time] と [System Date] 以外を設定できません。
[Advanced] 画面	[Video Configuration] の [Display] と [Panel Setting] 以外を設定できません。
[Security] 画面	[Set User Password] と [Set Hard Disk password]*1 以外を設定できません。 *1[Change Hard Disk Password] が [Enabled] の場合のみ
[Boot] 画面	すべて設定できません。
[Exit] 画面	[Save Values & Exit] と [Discard Values & Exit] 以外を選べません。

・Hard Disk Password
Supervisor Password を設定したあとで設定できます。
ハードディスクにパスワードを設定するので、パスワードを知らない人は、ハードディスクの中身を確認できません。

操作の前に、必要なページを印字してください。

重要
◎ パスワードを設定したときは、パスワードをメモにとり安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。もし忘れてしまった場合は、お問い合わせください。有償で対処します。

参照
お問い合わせについて→『パソコンを準備する』の「お問い合わせ先」

重要
◎ Hard Disk Password を忘れた場合には、データの回復はできません。

重要
◎ パスワードを設定すると、パスワードの入力画面が表示されます。このとき誤ったパスワードを 3 回入力すると、パソコンが操作できなくなります。この場合は、一旦パソコンの電源を切ってやり直してください。

重要
◎ BIOS メニューの内容は、ここで説明する以外のものは変更しないでください。変更するとパソコンが正しく動作しないことがあります。

パスワードをはじめて登録する

パスワードを設定するために、BIOS メニューを立ち上げます。

1 パソコンの電源を入れる。

2 パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F12> to enter Boot Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼BIOS Setup Utility画面が表示される。

```
                     PhoenixBIOS Setup Utility
  Main    Advanced    Security    Boot     Exit

                                               Item Specific Help
 System Memory:              640 KB
 Extended Memory:            xxx MB
 CPU Information:            xxx      xxx GHz
 System BIOS Version:        x.xxH
 Keyboard Controller Version: x.xx
 System Time:                [xx:xx:xx]
 System Date:                [xx/xx/xxxx]

 ・Primary Master            [xxx MB]
 ・Secondary Master          [CD-ROM]

F1  Help  ↑↓  Select Item  -/Space Change Values     F9  Setup Defaults
Esc Exit  ←→  Select Menu  Enter   Select ▶ Sub-menu F10 Save and Exit
```

3 [→] キーで、[Security] を選ぶ。

▼[Security] 画面が表示される。

```
                     PhoenixBIOS Setup Utility
  Main    Advanced    Security    Boot     Exit

                                               Item Specific Help
 Set Supervisor Password:    [Enter]
 Set User Password:          [Enter]
 Password on boot:           [Disabled]

 Change Hard Disk Password:  [Disabled]
   Hard Disk Password:       Disabled
   Set Hard Disk Password:   [Enter]

 Device Configration
   USB0:                     [Enabled]
   USB1:                     [Enabled]
   Audio:                    [Enabled]
   LAN:                      [Enabled]
   CardBus:                  [Enabled]
   IEEE1394:                 [Enabled]

F1  Help  ↑↓  Select Item  -/Space Change Values     F9  Setup Defaults
Esc Exit  ←→  Select Menu  Enter   Select ▶ Sub-menu F10 Save and Exit
```

パスワードを設定する

1 **[↑] または [↓] キーで、[Set Supervisor Password] を選び、[Enter] キーを押す。**

▼ パスワード入力画面が表示される。

```
Set Supervisor Password:

  Enter New Password      [          ]
  Confirm New Password    [          ]
```

2 **半角 8 桁以内の数値または文字でパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼ カーソルが [Confirm New Password] に移動する。

3 **再度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼ 次の画面が表示される。

```
Setup Notice

Changes have been saved .
[ Continue ]
```

4 **[Enter] キーを押す。**

▼ [Security] 画面に戻る。
再度入力したパスワードが間違っていると、次の画面が表示される。

```
Setup Warning

Passwords do not match .
Re - enter password .

[ Continue ]
```

その場合は、次の手順を行う。

5 **[Enter] キーを押して、手順 2 からやり直す。**
パスワードの入力を中止するときは、[Esc] キーを押す。

ヒント

★ パスワードの設定を途中でやめるときは、[Esc] キーを押します。

ヒント

★ パスワードには数字の 0 ～ 9 とアルファベットの小文字の a ～ z が使えます。

重要

◎ パスワードはメモにとり、安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。もし忘れてしまった場合は、お問い合わせください。有償で対処します。

参照

お問い合わせについて→『パソコンを準備する』の「お問い合わせ先」

6 必要に応じて、[Set User Password]、[Password on boot]、[Set Hard Disk Password] を設定する。

パスワードの設定を保存する

設定したパスワードを保存して、BIOS メニューを終了します。

1 [Esc] キーを押す。

▼ [Exit] 画面が表示される。

2 [Save Values & Exit] を選び、[Enter] キーを押す。

▼ 設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

```
Setup Confirmation
Save configuration changes and exit now?
[Yes]     [No]
```

3 [←] または [→] キーで [はい] を選び、[Enter] キーを押す。

▼ 設定したパスワードが保存され、自動的にパソコンが立ち上げ直される。

ヒント

★ パスワードを設定しない場合は [No] を選び、[Enter] キーを押してください。

設定したパスワードを変更する

1 BIOS メニュー画面で [Security] メニューを選ぶ。

2 [Set Supervisor Password] または [Set User Password] を選び、[Enter] キーを押す。

3 [Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼ カーソルが [Enter New Password] に移動する。

4 パスワードの設定と同様に、半角 8 桁以内の数値または文字で新しいパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

5 変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。

パスワードを削除する

1 BIOS メニュー画面で [Security] メニューを選ぶ。

2 [Set Supervisor Password] または [Set User Password] を選び、[Enter] キーを押す。

3 [Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼カーソルが [Enter New Password] に移動する。

4 各項目にパスワードを入力しないで [Enter] キーを押す。

▼パスワードが解除される。

5 変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。

ハードディスクパスワード

ハードディスクパスワードの設定方法について説明します。

■ Change Hard Disk Password
Set Hard Disk Password の設定を変更するかどうか設定します。
■ Set Hard Disk Password
ハードディスクにパスワードを設定します。設定すると、パソコン立ち上げ時にパスワードを入力する必要があります。

●パスワードの設定

1 [Change Hard Disk Password] を選び、[Enabled] にする。

2 [Set Hard Disk Password] を選び、[Enter] キーを押す。

▼パスワード入力画面が表示される。

パスワードの設定を途中でやめるときは、[Esc] キーを押します。

重要

◎ **Hard Disk Password を忘れた場合は、データの回復はできません。**

3 半角 8 桁以内の数値または文字でパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼カーソルが [Confirm New Password] に移動する。

4 再度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼次の画面が表示される。

```
Setup Notice

Changes have been saved .
[ Continue ]
```

5 [Enter] キーを押す。

▼[Security] 画面に戻る。
再度入力したパスワードが間違っていると、次の画面が表示される。

```
Setup Warning

Passwords do not match .
Re - enter password .

[ Continue ]
```

その場合は、次の手順を行う。

6 [Enter] キーを押して、手順 3 からやり直す。
パスワードの入力を中止するときは、[Esc] キーを押す。

7 必要に応じて、[Change Hard Disk Password] を [Disabled] に変更する。

[Change Hard Disk Password] を [Disabled] にしておくと、User Password で BIOS メニューを立ち上げたときに、Hard Disk Password の設定は変更できなくなります。不用意に Hard Disk Password を設定、変更されたくないときは、Supervisor Password を設定して [Change Hard Disk Password] を [Disabled] にして使用されることをおすすめします。

●パスワードの変更

1 [Set Hard Disk Password] を選び、[Enter] キーを押す。

[Change Hard Disk Password] を [Enabled] にしないと、[Set Hard Disk Password] は選べません。

2 **[Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼カーソルが [Enter New Password] に移動する。

3 **パスワードの設定と同様に、半角 8 桁以内の数値または文字で新しいパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

4 **変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。**

●パスワードの削除

1 **[Set Hard Disk Password] を選び、[Enter] キーを押す。**

[Change Hard Disk Password] を [Enabled] にしないと、[Set Hard Disk Password] は選べません。

2 **[Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼カーソルが [Enter New Password] に移動する。

3 **各項目にパスワードを入力しないで [Enter] キーを押す。**

▼パスワードが解除される。

4 **変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。**

Wake on LAN を設定する

ネットワークからパソコンを立ち上げる信号が流れたときに、パソコンを立ち上げることができます。これを Wake on LAN といいます。

Wake on LAN できる状態

次の状態のときパソコンを立ち上げることができます。
・スタンバイ状態
・電源オフ状態([Windows の終了] で Windows を終了している状態)

Wake on LAN の設定

Windows の設定

工場出荷状態では Wake on LAN できるように設定されていません。

1 [デバイスマネージャ] を開き、[ネットワークアダプタ] の [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC] をダブルクリックする。

▼ [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC のプロパティ] が表示される。

2 [電源の管理] タブの [節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る] および [コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う] にチェックをする。

BIOS メニューの設定

工場出荷状態では Wake on LAN できるように設定されていません。

1 パソコンの電源を入れる。

2 パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F12> to enter Boot Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

重要

◎ Windows を終了して電源を切っても、LAN などの一部のデバイスには電力が供給されます。
◎ 休止状態・電源オフ状態からの Wake On LAN の機能を使うときは、AC アダプターでお使いください。バッテリーでは立ち上がりません。
◎ 電源スイッチを 4 秒以上押して、Windows を強制終了しているときは、パソコンは立ち上がりません。
◎ 電源オフ状態の場合は、ドライバーの設定に関係なく BIOS メニューの設定のみで Wake on LAN します。

▼BIOS Setup Utility 画面が表示される。

3 [→] キーで、[Advanced] を選ぶ。

▼[Advanced] 画面が表示される。

4 [↓] キーで [Wake On LAN] を選び、スペースキーを押して、設定値を「Enabled」にする。

5 [Esc] キーを押す。

▼[Exit] 画面が表示される。

6 [F10] キーを押す。

▼設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

7 [←] または [→] キーで [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼設定が保存され、自動的にパソコンが立ち上げ直される。

ヒント

★ [Wake On LAN] を設定するには、[Security] の [Device Configration] の [LAN] を [Enabled] に設定しておく必要があります。

別のディスクから立ち上げる

パソコンの立ち上げ時にどのドライブから立ち上げるか、優先順位を設定します。
操作の前に、このページを印字してください。

1 パソコンの電源を入れる。

2 パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F12> to enter Boot Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼BIOS メニューが表示される。

3 [→] キーで、[Boot] を選ぶ。

▼ [Boot] 画面が表示される。

4 [↓] キーで、[Boot Sequence] を選び、[Enter] キーを押す。

▼ [Boot Sequence] 画面が表示される。

5 優先順位を上げたいドライブを [↑][↓] キーで選び、[SPACE] キーを押す。

▼選んだドライブの優先順位が１つ上がります。

6 必要に応じて手順 5 を繰り返す。

2 章

消費電力を節約する

この章では、パソコンの消費電力を節約する方法について説明します。

節電機能とは

CPU や HDD、ディスプレイの働きを一時的に停止させることで、消費電力を節約できます。この機能を節電機能といいます。節約している状態を節電状態と呼びます。

節電機能の種類

機能	内容	ランプの状態
パソコン全体の節電（スタンバイ）	・CPU クロックを一時的に停止する ・接続した周辺機器への供給電力を減らす ・ディスプレイを消す ・ハードディスクのモーターを停止する	・電源ランプ点滅
ディスプレイの節電	・ディスプレイを消す	・電源ランプ点灯
ハードディスクの節電	・ハードディスクのモーターを停止する	

重要

◎ アプリケーションによってはその使用中に節電機能にならなかったり、節電機能が働くまでに時間がかかることがあります。

◎ 節電機能実行中はハードウェアの環境を変更しないでください。ハードウェアの環境を変更すると、Windows が再起動したり動作が不安定になります。

◎ SCSI カードを接続してご使用の際は、スタンバイによる節電機能は使用できません。

節電する

消費電力を自動で節約したり、特定のボタンを押して節約できます。

自動で節電する

パソコンをしばらく操作しないでいると、自動で消費電力が節約されます。どのくらいの時間で節電されるかは、［コントロールパネル］の［電源の管理］で設定します。

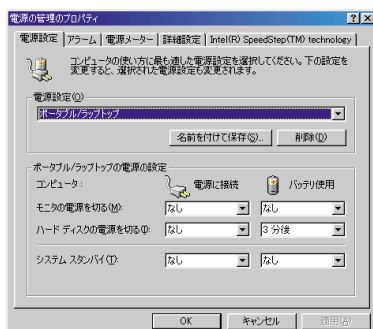
●標準の状態 (AC 電源での使用時)
・ 15 分操作しないと・・・・ディスプレイが節電される
・ 20 分操作しないと・・・・パソコン全体の節電 (スタンバイ状態) になる

時間を設定する

1 [スタート] ボタンー [設定] ー [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする。

▼ [電源の管理のプロパティ] 画面が表示される。

2 [電源設定] タブで、各項目にどのくらいパソコンを操作しないでいると節電状態になるかを設定する。

・モニタの電源を切る　　　　：ディスプレイの節電
・ハードディスクの電源を切る：ハードディスクの節電
・システムスタンバイ　　　　：パソコン全体の節電（スタンバイ）

◎ 「システムスタンバイ」を設定しても、時間通りに節電状態にならないことがあります。

◎ 「システムスタンバイ」と「モニタの電源を切る」を同じ時間に設定にしないでください。パソコンが正しく動かないことがあります。

◎ AC 駆動時、バッテリー駆動時、それぞれの時間を設定できます。

◎ [コントロールパネル] ー [電源の管理] の [電源メーター] タブを開いているときに、AC アダプターやバッテリーの抜き差しをしても、アイコンはすぐに更新されません。

3 [適用] ボタンをクリックする。

4 [コントロールパネル] の [画面] アイコンをダブルクリックし、[設定] タブをクリックする。

▼ [画面のプロパティ] が表示される。

5 [詳細] ボタンをクリックする。

▼ [Intel(R) 82830M Graphics Controller-0 のプロパティ] が表示される。

6 [モニタ] タブ中の、[省電力モニタ] をオンチェックにする。

すぐに節電

パソコンから離れるときなどに、次のようにして消費電力を節約できます。

[Windows の終了] から節電

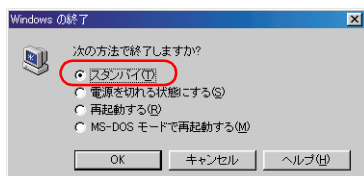
次のようにしてパソコンを節電状態にできます。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[Windows の終了] をクリックする。

2 [スタンバイ] をクリックして、[OK] ボタンをクリックする。

▼ スタンバイ状態になる。

重 要

◎ 音声や動画ファイルを再生中は、ここで説明する方法は行わないでください。節電状態から復帰したとき、正しく音声や動画ファイルを再生できないことがあります。

重 要

◎ スタンバイ状態にするときには電源ランプが点滅するまで、キーボードのキーを押したり、マウスを動かさないでください。復帰したときに、キーボードやマウスが動作しなくなることがあります。

電源スイッチで節電

[Fn] キーを押しながら [F12] キーを押すと、スタンバイ状態になります。

この設定は [コントロールパネル] の [電源] で行います。[電源] の設定を変えると、ディスプレイを閉じたり、電源スイッチを押したときに節電状態にすることもできます。

■標準の状態

・ ディスプレイを閉じたとき　：なし（画面表示が消える）
・ 電源スイッチを押したとき　：電源オフ
・ [Fn]+[F12] キーを押したとき ：スタンバイ

■設定方法

1 **[スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする。**

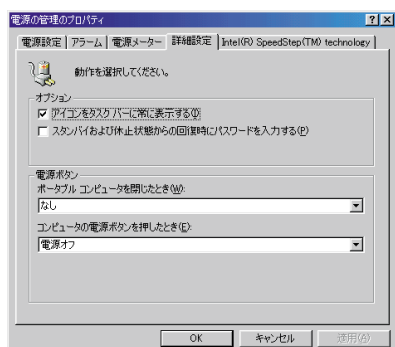
▼ [電源の管理のプロパティ] 画面が表示される。

ヒント

★ **ポインティングパッドに指などが触れていると、[Fn] ＋ [F12] キーを押しても、節電状態にならないことがあります。**

★ **「電源オフ」は、[スタート]- [Windows の終了] と同様に、電源スイッチや [Fn] ＋ [F12] キーを押すことで電源を切る機能です。**

2 [詳細設定] タブで、各項目を「スタンバイ」に設定する。

・ポータブルコンピュータを閉じたとき（ディスプレイを閉じたとき）
・コンピュータの電源ボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）

3 [適用] ボタンをクリックする。

★ [ポータブルコンピュータを閉じたとき] を「なし」に設定しても、画面表示は消えます。

CPU を節電する

CPU の消費電力を節約できます。

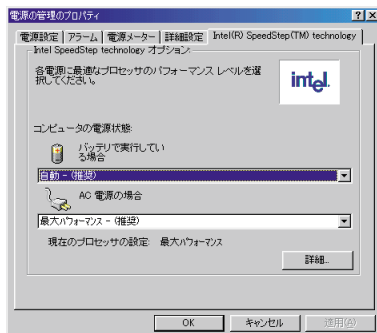
PentiumIII のパソコンの場合は、Intel® SpeedStep™ Applet をセットアップして、Windows で設定します。使用する電源 (AC、バッテリー) に応じて、CPU の消費電力を節約できます。標準で節電するように設定されています。バッテリー駆動で使用する場合には、CPU の節電機能をご利用ください。

参照
Intel® SpeedStep™ Applet のセットアップ→ 4 章の「Intel SpeedStepTM Technology Applet」(P.67)

節電する

1 **[スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [電源の管理のプロパティ] 画面が表示される。

2 **[Intel(R)SpeedStep(TM) テクノロジ] タブで、[バッテリで実行している場合] と [AC 電源の場合] のパフォーマンスを設定する。**

節電状態から復帰する

節電状態から復帰させるには、次のように操作してください。

ディスプレイの節電状態からの復帰

・[Shift] などのキーを押す
・ポインティングパッドやマウスを操作する

ハードディスクの節電状態からの復帰

・HDD にアクセスする操作を行う

スタンバイからの復帰

・ディスプレイを閉じているときはディスプレイを開く
・パソコンの電源スイッチを押す

重要

◎ 節電状態から復帰させるときは、20 秒以上時間をおいてください。20 秒未満で復帰させると、キーボードやマウスが正しく動かないことがあります。
◎ スタンバイ状態中にキー入力を行うと、入力したキーが復帰後に有効になることがあります。
◎ MS-DOS プロンプトを開いた状態でスタンバイに移行した場合は正常に復帰しないことがあります。正常に復帰しない場合は Windows ボタンを押し、マウスを操作してください。

重要

◎ パソコンの電源スイッチは4秒以上押さないでください。電源が強制的に切れます。
◎ ソフトウェアの環境によってスタンバイから復帰できないことがあります。この場合は、スタンバイ以外の節電をご使用ください。

節電機能を使わないようにする

節電状態になるとパソコンが正しく動かなかったり、データが壊れることがあります。ここでは、どんなときに使わないようにするか、またその設定の仕方を説明します。

節電機能を使わないようにするとき

次のときは、スタンバイにならないようにしてください。これらの機能･プログラムでデータを扱っている最中に節電機能が働くと、データが失われることがあります。

・ 再セットアップ中
・ システムやアプリケーションの立ち上げ中
・ ディスク (HDD、FD、CD-ROM など) の読み書き中
・ 通信カード、通信ソフトで節電機能の使用が制限されている場合
・ プリンターの印字中
・ 音源の使用中
・ IEEE1394 デバイス接続時
・ 同時表示および複数表示に設定している場合

節電機能を使わないようにするには

次の手順で、節電機能が働かないようにできます。

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする。

▼ [電源の管理のプロパティ] 画面が表示される。

2 [電源設定] タブの各項目を「なし」に設定する。

･[モニタの電源を切る]
･[ハードディスクの電源を切る]
･[システムスタンバイ]

3 [詳細設定] タブの各項目を「なし」または「電源オフ」に設定する。

･[ポータブルコンピュータを閉じたとき]
･[コンピュータの電源ボタンを押したとき]

3 章

付属ソフトウェアの使い方

この章では、付属ソフトウェアの使い方を説明します。

付属ソフトウェアの使い方

このパソコンに付属しているソフトウェアについて説明します。

LAN ドライバー

LAN を使うためのドライバーです。

無線 LAN ドライバー

無線 LAN を使うためのドライバーです。

モデムドライバー

モデムを使うためのドライバーです。

USB FD ドライバー

外付け USB FDD を使用する場合に必要なドライバーです。

サウンドドライバー

サウンド機能を使用する場合に必要なドライバーです。

表示ドライバー

ディスプレイ表示を細かく設定できるようにするためのドライバーです。
細かい設定は、[Intel(R) 82830M Graphics Controller のプロパティ] で行います。[Intel(R) 82830M Graphics Controller のプロパティ] は、[コントロールパネル] の [Intel(R) Graphics Technology] アイコンをダブルクリックして開きます。

[Intel(R) 82830M Graphics Controller のプロパティ]

■デバイス
使用するデバイスを切り替え、ディスプレイモード（同時表示、マルチディスプレイ表示）の選択ができます。

重 要

◎ 付属ソフトウェアは、このパソコン以外では使用しないでください。動作を保証できません。
また、ドライバーなどによっては、ハードウェア故障の原因になります。

ヒント

★ 無線 LAN は 1 ～ 14 チャネルが使用できます。

■色
画面の色合い（ガンマ補正）の操作ができます。
■配色
現在使用しているディスプレイ、ディスプレイモード、色合いの情報を表示する
■ホットキー
ホットキーを使用してグラフィックプロパティを起動する
■情報
現在使用する表示ドライバーやビデオ BIOS のバージョンなどの表示をする

ホイールマウスドライバー

ホイールマウスのスクロール機能やホイールボタンを使えるようにするためのドライバーです。タスクバーに表示されるマウスのアイコンをダブルクリックすると [マウスのプロパティ] が開き、各種設定が行えます。

マウスドライバーは、標準でタッチパッドドライバーがインストールされています。ホイールマウスドライバーをインストールする前に、タッチパッドドライバーをアンインストールしてください。

ほかのマウスドライバーに変更するときは、ホイールマウスドライバーをアンインストールしてください。

ホイールマウスドライバーのインストール

1 **ホイールマウスを接続してから電源を入れる。**

2 **Windows が立ち上がったら、[スタート] − [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 **CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れ、d:\programs\win98\mouse\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [設定言語の選択] 画面が表示される。

4 **「日本語」が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [インストール先の選択] 画面が表示される。

5 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [プログラムフォルダの選択] 画面が表示される。

重要

◎ ホイールマウスドライバーをインストールすると、ポインティングパッドの拡張機能 (スクロール機能など) は使用できなくなります。マウス専用のドライバーとしてご使用ください。
◎ マウスの抜き差しは、パソコンの電源を切ってから行ってください。
◎ ホイール機能は、アプリケーションによって使用できないものもあります。
◎ [マウスのプロパティ] の [ボタン] タブで、スクローラ、自動スクロール、ユニバーサルスクロールのオプションを ［MS Office 互換のスクロール機能のみ使用 ］に設定すると、MS Office 互換でないアプリケーションはスクロールできなくなります。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどのドライブ名です。

6 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ファイルのコピー後、[InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示される。

7 CD を取り出し、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了] ボタンをクリックする。

▼Windows が立ち上げ直される。

ホイールマウスドライバーのアンインストール

1 [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックし、プロパティを開く。

2 「MouseWare X.XX」を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックする。

▼[ファイル削除の確認] 画面が表示される。

3 [OK] ボタンをクリックする。

▼ファイルの削除後、[アンインストール] 画面が表示される。

4 [OK] ボタンをクリックする。

▼Windows が立ち上げ直される。

タッチパッドドライバー

ポインティングパッドでスクロールなどの拡張機能を使えるようにするためのドライバーです。
ホイールマウスドライバーなど、ほかのマウスドライバーをインストールするときは、タッチパッドドライバーをアンインストールしてください。

タッチパッドドライバーのアンインストール

1 [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックする。

▼ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面が表示される。

2 「Synaptics TouchPad」を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックする。

3 [ファイル削除の確認] 画面が表示されるので、[はい]、[OK] の順にボタンをクリックする。

▼ ファイルが削除される。
[OK] ボタンをクリック後、ファイルの削除が開始されるまで、多少時間がかかります。

4 終了を示す画面が表示されたら、各画面の [OK]、[×] をクリックしてすべての画面を閉じる。

5 Windows を立ち上げ直す。

重要

◎ スクロール機能は、アプリケーションによっては機能しないものもあります。

ヒント

★ タッチパッドドライバーのスクロール機能は、Office や、Windows 付属のアプリケーション (メモ帳など) で使用できます。

ワイヤレス LAN 設定ユーティリティ

無線 LAN の各種設定を行ったり、接続先の変更を行うユーティリティです。
ご使用するにあたって、ワイヤレス LAN 設定ユーティリティのインストールと接続設定を行う必要があります。

ユーティリティの設定方法

ここでは、PC-CN3300 アクセスポイントへ接続する場合を例に説明します。

1 **タスクトレイのワイヤレスLAN設定ユーティリティのアイコンをクリックするか、[スタート]-[プログラム] より [HITACHI ワイヤレス LAN 設定カードユーティリティ] を選択し開きます。**

▼［ワイヤレス LAN 設定ユーティリティ］画面が表示される。

2 **[設定]タブを開き、[ワイヤレスLAN設定名]に任意の名称を入力します。**

3 **[通信速度] を選択します。（初期値：自動）**

4 **[ネットワーク名 (ESSID)] に接続するアクセスポイントの ESSID を入力するか、[スキャン] ボタンをクリックし、接続を行うアクセスポイントを指定し、[選択] ボタンをクリックします。**

5 **[省電力モード] を [無効] に設定します。（初期値：無効）**

6 **[ワイヤレス LAN 通信モード] を [ステーション経由] に設定します。（初期値：ステーション経由）**

7 **接続するアクセスポイントに暗号キー（WEP）の設定が行われている場合は、[暗号キー（WEP）の設定] を行います。暗号キー（WEP）の設定が行われていない場合は、8. へ進みます。**

設定方法

● アクセスポイントが WEP40 ビットを設定している場合

(1) [WEP キー] で [40bit / 64bit] を選択します。

(2) [キーの形式] でアクセスポイントと同形式を選択します。（PC-CN3300 の場合、[英数字（ASCII)] を使用します。

(3) [使用する暗号キー] を選択します。（PC-CN3300 の場合、[キー 0] を選択します。）

(4) (3) で指定したキーへアクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。

● アクセスポイントが WEP128 ビットを設定している場合

(1) [WEP キー] で [128bit] を選択します。

(2) [キーの形式] でアクセスポイントと同形式を選択します。（PC-CN3300 の場合、[英数字（ASCII)] を使用します。

ヒント

★ TCP/IP など、別途ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定に関してはシステム管理者にお問い合わせ下さい。

★ パソコン同士で通信を行う場合、4. で通信を行うパソコンと同一の ID（任意）を入力します。また、6. で [パソコン間] を選択し同一のチャンネルを指定します。

★ 暗号化キーは、半角英数字（0-9,a-z）5 文字もしくは 13 文字で設定してください。

重 要

◎ 同一機種以外の無線 LAN 機器とのピアツーピア接続はできません。必ずアクセスポイントを経由して接続をおこなってください。

(3) [使用する暗号キー] を選択します。(PC-CN3300 の場合、[キー 0] を選択します。)
(4) (3) で指定したキーへアクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。

8 **[適用] ボタンをクリックします。**

Easy CD Creator

CD-R/RW ドライブで、CD-R や CD-RW に書き込みするためのユーティリティーです。パソコンのデータを CD-R/RW にバックアップする目的などに使用します。使用方法は、プログラムのヘルプをご参照ください。

VirusScan

Windows で、コンピュータウイルスを検出するソフトウェアです。
標準ではセットアップされていません。必要に応じてセットアップしてください。
次の機能があります。

・VirusScan	：	ウイルスを検出・除去します
・VShield	：	メモリーに常駐してウイルス感染ファイルへのアクセスを監視します
・VirusScan コンソール	：	VirusScan のスケジュールの設定が行えます

ヒント

★ **使用方法の詳細は、VirusScan をインストール後、インストールしたフォルダーの Readme.txt やオンラインヘルプをご参照ください。**

VirusScan の使い方について

・VirusScan は新ウィルスに対応するため、常にバージョンアップを行っています。そのため、付属の VirusScan が最新でない場合があります。その状態でご使用になると、新ウィルスの検出ができません。新ウィルスを検出するためには、「ウィルスワクチンサービス MC」の契約を行い、最新の VirusScan を入手してください。
詳細は、次のアドレスでご確認ください。
http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/vakzin/mc/vakzin_mc.htm
・VirusScan のインストール時に、[McAfee VirusScan 設定] の「起動時にブートレコードをスキャン」にチェックを付けないでください。パソコンが立ち上がらなくなる場合があります。
・VirusScan のインストール時に、[McAfee VirusScan 設定] の「インストール後にデフォルトのウィルス検査を実行」にチェックを付けるとパソコン起動時に毎回オンデマンドスキャンが起動しウィルス検査を行います。
・VShield の [システムスキャンプロパティ] の [スキャン] タブで [圧縮ファイル] にチェックを入れても圧縮ファイルのスキャンを行いません。ただし圧縮、解凍時スキャンを行います。

Intel® SpeedStep™ Technology Applet

使用する電源（AC、バッテリー）に応じて、CPU の消費電力を変更するためのユーティリティーです。

参照

使い方について→ 2 章の「CPU を節電する」（P.41）

BEAMSTAR 用ドライバー

別売の BEAMSTAR を使うためのプリンタードライバーです。
詳しい使い方は『活用百科』CD の \programs\beamstar フォルダー内の pdf ファイル、txt ファイルを参照ください。

インターネットマーク

インターネットエクスプローラへのプラグインソフトです。閲覧中の Web コンテンツの真正性が確認できます。

Norton Ghost 2002

パソコンのハードディスクの内容をその他のディスクにバックアップしたり、バックアップした内容を復元するユーティリティーです。
標準ではセットアップされていません。必要に応じてセットアップしてください。

参照

使用方法の詳細→『活用百科』CD の \programs\ghost\readme.txt や \programs\ghost\Documents\Ghost_guide.pdf

Office XP

購入時の選択によって付属されるアプリケーションセットです。
お客様がパソコンにメモリーやボードの増設などのハードウェア環境に変更を加えた場合、その後の Microsoft Office XP のアプリケーションソフトウェア (Word 、Excel 、Outlook など) の初回起動時、「Microsoft Office XP ライセンス認証ウィザード」が表示されることがあります。この状態では各アプリケーションの機能が制限されます。ウィザードのメッセージに従い、Office XP のパッケージに付属の「Microsoft Office XP 」CD-ROM を CD-ROM ドライブなどに挿入して、メッセージに従い操作してください。

重要

◎ 添付の Microsoft Office XP (以下 Office) の CD で Office をセットアップし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office の立ち上げ回数が許諾回数を超えると、新規ファイルの作成更新など一部の機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office の『セットアップガイド』をご参照ください。

一太郎

購入時の選択によって付属されるアプリケーションセットです。
使い方やセットアップ方法などは、付属のマニュアルをご参照ください。

ヒント

★ Bookshelf Basic,Step by Step Interactive はセットアップされていません。
必要に応じて Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic CD-ROM、Step by Step Interactive CD-ROM でセットアップしてください。

ATOK

購入時の選択によって付属される日本語入力システムです。
使い方やセットアップ方法などは、付属のマニュアルをご参照ください。

Acrobat Reader

本書のような電子マニュアルなど PDF 形式のファイルを参照するためのアプリケーションです。

参照

使い方について→『Windows を使えるようにする』2 章の「電子マニュアルを使う」

CyberSupport for HITACHI

パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルから探し出す、検索ソフトウェアです。

参照

使い方について→『Windows を使えるようにする』2 章の「電子マニュアルを使う」

ソフトウェアの重要事項

ここでは、ソフトウェアを使用するときの重要な項目について説明します。

動画と音声の再生について

動画の再生について

動画ファイルを再生中、次の操作は行わないでください。これらの操作を行うと、デスクトップ画面が正しく表示されなくなることがあります。
・MS-DOS プロンプトを立ち上げてウィンドウを最大化し、その後終了する。
・MS-DOS プロンプトを立ち上げたあとに、Windows 側に切り替える。

Windows の終了、立ち上げ直しについて

Windows の終了や再立ち上げを行う前に、音声、動画再生アプリケーションを終了してください。音声、動画ファイルを再生した状態で行うと正しく終了しない場合があります。

4 章

追加セットアップ

この章では、ドライバーやアプリケーションを、個別にセットアップする方法を説明します。
購入時にセットアップされていないアプリケーションなどは、この章でセットアップします。

ドライバー、アプリケーションの追加について

ドライバーやアプリケーションの追加を行うと、「‘Windows 98’CD-ROM ラベルのついたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」と表示されることがあります。
このようなときは、次の操作を行ってください。

1 [OK] ボタンをクリックする。

▼ [ファイルのコピー] 画面が表示される。

2 [ファイルのコピー元] に、c:\windows\options\cabs と入力する。

3 [OK] ボタンをクリックする。

▼ ドライバーまたは Windows のプログラムインストールが続行される。

重要

◎ **メッセージが表示されず、直接 [ファイルのコピー] が表示されることがあります。**

ヒント

★ **標準の CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名は、HDD の次になります。あらかじめ、CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブのドライブ名をご確認ください。**

★ **ドライバーのインストール中に「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されることがあります。[はい] ボタンをクリックしてそのままインストールを続けてください。**

ドライバーを個別セットアップする

ここでは、次のドライバーを個別にセットアップする方法について説明します。

ドライバー名	一括セットアップ 〇：可能 ×：不可	購入時 〇：セットアップ済み ×：セットアップなし
表示ドライバー	〇	〇
サウンドドライバー	〇	〇
LAN ドライバー	〇	〇
モデムドライバー	〇	〇
タッチパッドドライバー	〇	〇
無線 LAN ドライバー	〇	〇
DMA 設定	〇	〇
USB FD ドライバー	〇	〇

表示ドライバー

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れ、d:\programs\win98\svga\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [Intel(R) 830M chipset Graphics Driver Software セットアップ] 画面が表示される。

3 [次へ] ボタンをクリックする。

4 [はい] ボタンをクリックする。

▼「Install Shield ウィザードの完了」と表示される。

ヒント

★ 表の「一括セットアップ」に〇印があるドライバーは、一括インストールでもセットアップできます。

重要

◎ 個別セットアップを行うと、一括セットアップで組み込まれた場合と設定値が異なることがあります。

◎ 標準の CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名は、アルファベットの順で HDD の次の文字 (ドライブ文字) になります。あらかじめ、CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブのドライブ名をご確認ください。

◎ 無線 LAN を使用する場合は、別途ワイヤレス LAN 設定ユーティリティをセットアップする必要があります。

重要

◎ アプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと正しく動作しないことがあります。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

5 **CD を取り出し、[完了] ボタンをクリックする。**

▼Windows が立ち上げ直される。

使用するディスプレイの設定

必要に応じて使用するディスプレイを設定します。

1 **[コントロール パネル] の [画面] アイコンをダブルクリックし、プロパティーを開く。**

2 **[設定] タブ－[詳細] ボタンの順にクリックし、[Intel(R) 82830M Graphics Controller-0 プロパティ] を開く。**

3 **[モニタ] タブをクリックし、そこに表示されているディスプレイ名が正しいことを確認する。ディスプレイ名が誤っているときは、[変更] ボタンをクリックして [デバイスドライバの更新ウィザード] 画面を開く。**

4 **[次へ] ボタンをクリックする。**

5 **「特定の場所にあるすべてのドライバーの一覧を作成し、インストールするドライバーを選択する」を選んで、[次へ] ボタンをクリックする。**

重要

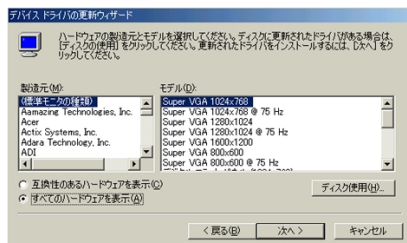
◎ 使用するディスプレイの設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと、正しく動作しないことがあります。

ヒント

★ デスクトップのウィンドウやアイコンなどが表示されていないところで右クリックすると、ショートカット メニューが表示されます。
このメニューの [プロパティ] をクリックしても、[画面のプロパティ] 画面を開けます。

ヒント

★ [プラグアンドプレイモニタを自動的に検出する] にチェックマークを付けてください。

6 [すべてのハードウェアを表示] を選び、付属のマニュアルを参照して [製造元 :] からディスプレイの製造元、[モデル :] からディスプレイを選び、[次へ] ボタンを 2 回クリックする。

ディスプレイの製造モデルについて
→ディスプレイ付属のマニュアル

重要

◎ ディスプレイに付属の FD を使用して設定などを変更するときは、[ディスク使用] ボタンをクリックし、指示に従って操作してください。詳細については、付属のマニュアルをご参照ください。

サウンドドライバー

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れ、d:\programs\win98\sound\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [ようこそ] 画面が表示される。

3 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [メンテナンスの完了] 画面が表示される。

4 「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択する。

5 『活用百科』CD を取り出し、[完了] ボタンをクリックする。

▼ Windows が立ち上げ直される。

重要

◎ セットアップ後は、Volume Control 設定が初期化されます。再度設定を行ってください。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

ヒント

★ [バージョンの競合] 画面が表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

LAN ドライバー

1 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。

2 [コントロール パネル] の [システム] アイコンをダブルクリックし、プロパティーを開く。

3 [デバイス マネージャ] タブの [ネットワーク アダプタ] をダブルクリックする。

4 [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC] をダブルクリックする。

▼ プロパティー画面が表示される。

5 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリックする。

▼ [デバイス ドライバの更新ウィザード] 画面が表示される。

6 [次へ] ボタンをクリックする。

7 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスの選択] 画面が表示される。

8 [ディスク使用] ボタンをクリックする。

▼ [ディスクからインストール] 画面が表示される。

9 [配布ファイルのコピー元] に、d:\programs\win98\lan と入力し [OK] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスの選択] 画面が表示される。

10 [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC] を選んで [OK] ボタンをクリックする。ドライバー更新の警告メッセージが表示された場合は、
[はい] を選択する。

重要

◎ LAN ドライバーを削除すると、ドライバーが使用しているプロトコルも削除されます。TCP/IP プロトコルの場合、IP アドレスなどの設定情報も削除されますので、削除する場合は必要に応じて設定情報を書き留めてください。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

11 [次へ]、[完了] の順にボタンをクリックする。

▼「今すぐ再起動しますか？」と表示される。

12 CD を取り出し、[はい] ボタンをクリックする。

▼Windows が立ち上げ直される。

モデムドライバー

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れ、d:\programs\win98\modem\LTSMhom.exe と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [Welcome] 画面が表示される。

3 [Next] ボタンをクリックする。

▼ファイルのコピーが始まる。

4 [ディスクの挿入] 画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックし、[ファイルのコピー元] に、d:\programs\win98\modem と入力して [OK] ボタンをクリックする。

１分程度無反応となりますが、しばらく待てば操作できるようになります。

5 [Finish] ボタンをクリックする。

タッチパッドドライバー

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

重 要

◎ モデムドライバーを再セットアップするときは、事前にモデムドライバーを削除してください。
削除するには、[コントロールパネル] 内の [アプリケーションの追加と削除] を立ち上げ、[インストールと削除] タブ内に表示されている [Lucent Technologies Soft Modem AMR] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。
次に [OK] ボタンをクリックすると削除されます。再起動後「新しいハードウェアの追加」が表示されますので、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

2 **CD-ROMドライブなどに『活用百科』CDを入れ、d:\programs\win98\touchpad\setupと入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

▼[設定言語の選択]画面が表示される。

3 **「日本語」が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックする。**

▼[ようこそ]画面が表示される。

4 **[次へ]ボタンをクリックする。**

▼[インストール先の選択]画面が表示される。

5 **[次へ]ボタンをクリックする。**

▼[ファイルコピーの開始]画面が表示される。

6 **[次へ]ボタンをクリックする。**

▼インストール終了後、[セットアップ完了]画面が表示される。

7 **CDを取り出し、[完了]ボタンをクリックする。**

▼Windowsが立ち上げ直される。

無線LANドライバー

1 **[スタート]ボタン－[ファイル名を指定して実行]をクリックする。**

▼[ファイル名を指定して実行]画面が表示される。

2 **c:\hitachi\wlan\setupと入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

▼[InstallShield]画面が表示される。

3 **[次へ]ボタンをクリックする。**

▼[使用許諾契約]画面が表示される。

4 **[はい]をクリックする。**

▼[インストール先の選択]画面が表示される。

5 **[次へ]ボタンをクリックする。**

ヒント

★ dはCD-ROMドライブなどのCD-ROM対応ドライブ名です。

重要

◎ Windowsが立ち上げ直されると、[TouchPadについて]画面が表示されます。タッチパッドの詳細を参照するときは、[詳細]ボタンを押してください。
次の立ち上げ時に[TouchPadについて]画面を表示させないようにするときは、「次にWindowsを起動したときにこのメッセージを表示する」のチェックを外して、[閉じる]ボタンをクリックしてください。

ヒント

★ 無線LANドライバーをセットアップすると、ワイヤレスLAN設定ユーティリティも同時にセットアップされます。

★ 『活用百科』CDの\programs\win98\wlanからもセットアップできます。

▼ファイルのコピーが開始される。

6 [完了]ボタンをクリックする。

▼設定画面表示後[InstallShield ウィザードの完了]画面が表示される。

7 CDを取り出し、[完了]ボタンをクリックし、Windowsを立ち上げ直す。

USB FD ドライバー

1 USB FDD の USB ケーブルを USB コネクターに接続する。

▼[新しいハードウェアの追加ウィザード] が開く。

2 [次へ] ボタンをクリックする。

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを付け、[次へ] ボタンをクリックする。

4 『活用百科』CD を CD-ROM ドライブに入れ、「検索場所の指定」にチェックを付けて d:\programs\win98\usbfdd と入力し、[次へ] ボタンをクリックする。。

5 「USB FDD 」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ファイルがコピーされ、インストール終了のメッセージが表示される。

6 [完了] ボタンをクリックする。

▼[新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示される。

7 [次へ] ボタンをクリックする。

8 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを付け、[次へ] ボタンをクリックする。

9 「検索場所の指定」に d:\programs\win98\usbfdd と入力されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする。

10「更新されたドライバ USB FDD （VXD ）」にチェックを付け、[次へ] ボタンをクリックする。

11「USB FDD （VXD ）」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする。

▼インストール終了のメッセージが表示される。

12『活用百科』CD を取り出し、[完了] ボタンをクリックする。

アプリケーションを個別セットアップする

ここでは、次のアプリケーションなどを個別にセットアップする方法について説明します。

アプリケーション名	一括セットアップ ○：可能×：不可	購入時 ○：セットアップ済み ×：セットアップ無し
ワイヤレス LAN 設定ユーティリティ	×	×
VirusScan	×	×
Intel(R) SpeedStep™ Technology Applet *	○	○
CyberSupport for Hitachi	×	×
インターネットマーク	○	○
Norton Ghost 2002	×	×
Microsoft®Office XP (以下、Office XP) *	×	×
一太郎 *	×	×
ATOK *	×	×
Acrobat Reader	○	○
Easy CD Creator *	×	×

＊ 購入時の選択によって、セットアップまたは付属しています。これらのセットアップ方法は、アプリケーションに付属のマニュアルをご参照ください。

ワイヤレス LAN 設定ユーティリティ

1 [スタート]ボタン－[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

▼[ファイル名を指定して実行]画面が表示される。

2 c:\hitachi\wlan\setup と入力し、[OK]ボタンをクリックする。

▼[InstallShield]画面が表示される。

3 [次へ]ボタンをクリックする。

▼[使用許諾契約]画面が表示される。

ヒント

★ 表の「一括セットアップ」に○印があるアプリケーションは、一括インストールでもセットアップできます。

★ 表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にセットアップされています。

重要

◎ アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

◎ 標準の CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名は、アルファベットの順で HDD の次の文字(ドライブ文字)になります。あらかじめ、CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブのドライブ名をご確認ください。

◎ 添付の Microsoft Office XP (以下 Office)の CD で Office をセットアップし直した場合、ライセンス認証が必要です。
ライセンス認証を受けない場合、Office の立ち上げ回数が許諾回数を超えると、新規ファイルの作成更新など一部の機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office の『セットアップガイド』をご参照ください。

4 [はい] をクリックする。

▼ [インストール先の選択] 画面が表示される。

5 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ ファイルのコピーが開始される。

6 [完了] ボタンをクリックする。

▼ 設定画面表示後 [InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示される。

7 CD を取り出し、[完了] ボタンをクリックし、Windows を立ち上げ直す。

VirusScan

1 [スタート] ボタン－[ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れ、d:\programs\vscan\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。

▼ [製品情報] 画面が表示される。

3 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ソフトウェアの使用権許諾契約書] 画面が表示される。

4 [ライセンス契約に同意します。] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [インストールの種類] 画面が表示される。

5 [標準インストール] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [プログラムのインストール準備完了] 画面が表示される。

6 [インストール] ボタンをクリックする。

▼ [インストール中] 画面が表示されたあと、[McAfee VirusScan] 画面が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

7 **「起動時にブートレコードのスキャン」と「インストール後にデフォルトのウイルス検査の実行」のチェックを外し、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼オンデマンドスキャンが実行され、[ウイルス定義ファイルのアップデート] 画面が表示される。

8 **[後でアップデート] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼[McAfee VirusScan インストールウィザードは正常に完了しました。] 画面が表示される。

9 **[完了] ボタンをクリックする。**

▼インストールが終了する。

Intel® SpeedStep™ Technology Applet

1 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼[ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 **パソコン付属の『活用百科』CD を CD-ROM ドライブなどに入れ、d:\programs\win98\speedstp\disk1\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。**

3 **以降、画面の指示に従ってインストールする。**

重要

◎ CPUがPentiumIIIのパソコンでのみ動作します。それ以外のパソコンでは使用できません。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

CyberSupport for HITACHI

1 **CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。**

2 **[スタート] ボタン -[ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼[ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

重要

◎ 電子マニュアルをインストールしていないと、電子マニュアルを検索できません。

3 **d:\install\cybersupport\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

4 **「CyberSupport for HITACHI のセットアップを開始します。よろしいですか？」とメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックする。**

▼CyberSupport がインストールされ、データベースが作成される。

5 **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して [完了] ボタンをクリックする。**

▼パソコンが立ち上げ直される。

インターネットマーク

1 **CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。**

2 **[スタート] ボタン -[ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼[ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 **d:\programs\internetmarks\2k9x\npime008 と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼[ようこそ] 画面が表示される。

4 **画面の指示に従ってインストールする。**

Norton Ghost 2002

1 **CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。**

2 **[スタート] ボタンー [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼[ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 **d:\programs\ghost\install\setupと入力し、[OK]ボタンをクリックする。**

▼[Norton Ghost2002 用の InstallShield ウィザードへようこそ] が表示される。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

参照

Norton Ghost 2002 の機能について→『活用百科』CD の \programs\ghost\Readme.txt や \programs\ghost\Documents\Ghost_guide.pdf

ヒント

★ d は CD-ROM 対応ドライブ名です

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [使用許諾契約] が表示される。

5 画面の指示に従ってインストールします。

インストール終了後、[Norton Ghost 2002 の登録をお願いいたします] が表示されますが、[スキップ] ボタンをクリックして 登録処理をスキップしてください。

Acrobat Reader

1 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。

2 [スタート] ボタン -[ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 d:\install\ar505jpn と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [Adobe Acrobat 5.05] 画面が表示される。

4 画面の指示に従ってインストールする。

▼終了すると [情報] 画面が表示される。

5 [OK] ボタンをクリックする。

ヒント

★ d は CD-ROM ドライブなどの CD-ROM 対応ドライブ名です。

Windowsファイルを追加セットアップする

Windows 固有のソフトウェアは次の手順でセットアップできます。必要に応じてセットアップしてください。

1 **[スタート]ボタン−[設定]−[コントロール パネル]をクリックする。**

2 **[コントロール パネル] の [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックし、プロパティーを開く。**

3 **[Windows ファイル] タブの [コンポーネントの種類] で、必要なソフトウェアにチェックマークを付ける。**

4 **1 つの項目に複数のソフトウェアが含まれている場合があります。全部をセットアップしない場合は [詳細] ボタンをクリックし、必要のないソフトウェアのチェックマークを消して [OK] ボタンをクリックする。**

5 **[次へ] ボタンをクリックする。追加するファイルによっては、立ち上げ直すメッセージが表示される。その場合は、立ち上げ直すとセットアップが終了する。**

5 章

パソコン Q&A

この章では、パソコンのトラブルと、その対処方法を紹介しています。

トラブルが起こったら、まずここをお読みください。

ディスプレイの表示がおかしい

Q
表示色がおかしい、色数が少ない

A

・プリンター、パソコンの順に電源を入れると、ディスプレイの表示色がおかしくなることがあります。そのときは両方の電源を切り、パソコン、プリンターの順に電源を入れ直します。
・画面の表示色を正しく設定します。[コントロール パネル] の [画面] アイコンをダブルクリックしてプロパティーを開き、[設定] タブで、画面の表示色を調整します。ディスプレイを接続し、電源を入れたあと、画面の領域、色を設定し直してください。

・ディスプレイを接続しないで、パソコンを立ち上げると、画面の領域が 640 × 480、表示色が High Color(16 ビット) になる場合があります。ディスプレイを接続し、電源を入れたあと、画面の領域、色を設定し直してください。

参照
設定の方法について→ 1 章の「マウスを調整する」(P.9)

Q
表示がちらついたり色がずれたりする

A

・テレビなど、近くに強い磁気を発生するものがあります。ディスプレイから離してご使用ください。

・ケーブルを正しく接続し直します。

・明るさなどを正しく設定します。

Q
ディスプレイが熱くなる

A

ディスプレイの周囲に置いてある物を取り除きます。ディスプレイの放熱を妨げる物は、周囲に置かないようにしてください。

Q
おかしな文字が表示される

A

・Windows やアプリケーションを正しくインストールします。各ソフトに付属のマニュアルやヘルプを参照して、設定や制限事項などを確認します。

・文字が英文フォントに設定されている場合、おかしな文字を選択し、日本語のフォントに変更します。

・[MS-DOS プロンプト] 画面の場合、表示が日本語モード、英語モードのどちらに設定されているか確認します。

・フォントキャッシュが破損している可能性があります。一度 Safe モードで立ち上げ直し、その後通常の Windows を立ち上げます。
1 パソコンの電源を入れ、起動メニューが表示されるまで [Ctrl] キーを押す。
2「3.Safe mode」を選択し、[Enter] キーを押す。
3 Windows が立ち上がると自動的に [ヘルプとサポート] 画面が表示される。
4 [閉じる] ボタンをクリックする。
5 [スタート] ボタン -[終了]-[再起動] を選択する。
パソコンが通常通り立ち上げ直される。

Q

タスクバーが表示されない

A

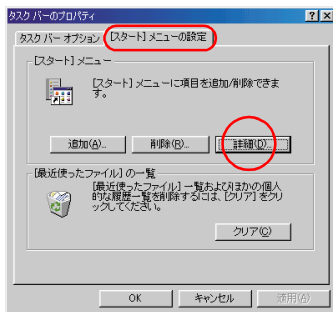
・画面の端に隠れるほど、タスクバーの幅を細くしています。画面の下端などにマウスを動かし、マウスポインターが矢印に変わったら、そのままドラッグしてタスクバーの幅を広げます。

・タスクバーの設定を変えています。[スタート] ボタン－ [設定] － [タスクバーと
[スタート] メニュー] をクリックしてプロパティーを開き、[タスクバーオプション] タブの [自動的に隠す] のチェックマークを消してください。

Q

アプリケーションが [スタート] メニューにない

アプリケーションを [スタート] メニューに登録します。

1 エクスプローラで、アプリケーションのプログラムファイルを右クリックし、[ショートカットの作成] を選択する。
2 作成されたショートカットを右クリックし、[切り取り] を選択する。
3 [スタート] ボタン－ [設定] － [タスクバーと [スタート] メニュー] を選択する。
4 [[スタート] メニューの設定] タブをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする。

5 [プログラム] を選択し、[編集] － [貼り付け] を選択する。

Q

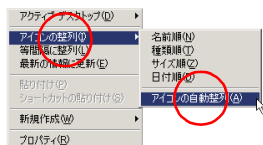
[スタート] メニューがいっぱいになって、選択しにくい

[スタート] メニューを整理します。

1 [スタート] ボタン－ [プログラム] を選択し、移動するメニューをポイントし、メニューを移動する位置までドラッグ & ドロップする。

デスクトップがアイコンで乱雑になった

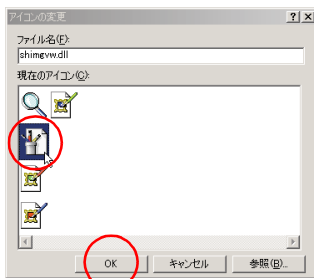
アイコンを自動整列します。

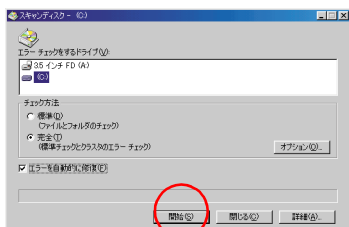
1 デスクトップでアイコンのないところを右クリックし、[アイコンの整列] ー [アイコンの自動整列] を選択する。

・不要なアイコンを削除します。

1 削除するアイコンを右クリックし、[削除] を選択し、[はい] ボタンをクリックする。

アイコンの絵柄が変わってしまった

・フォルダーオプションでアイコンの絵柄を変更します。

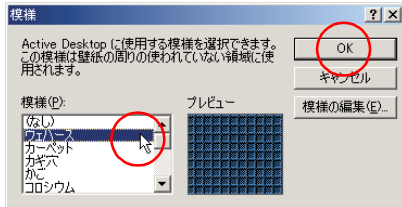
1 [スタート] ボタンー [設定] -[フォルダオプション] を選択する。
2 [ファイル　タイプ] タブをクリックし、アイコンの絵柄を変更するファイルタイプを選択し、[編集] ボタンをクリックする。
3 [アイコンの変更] ボタンをクリックし、アイコンを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

・スキャンディスクを実行し、ハードディスクを修復します。

1 [スタート] ボタンー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [システムツール] ー [スキャンディスク] を選択する。
2 [エラーチェックをするドライブ] で「(C:)」、[チェック方法] で [完全] を選択し、[エラーを自動的に修復] をチェックし、[開始] ボタンをクリックする。スキャンディスクが開始され、終了すると結果レポートが表示される。

3 [閉じる] ボタンをクリックする。

デスクトップの背景が気に入らない

A

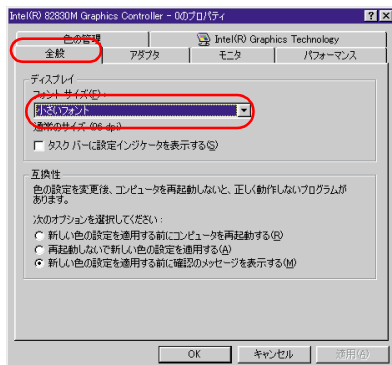
デスクトップの背景を変えます。

1 自分で描いた画像や写真などを使う場合は、bmp 形式にして、C:\ Windows にコピーしておく。
2 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。[画面のプロパティ] が表示される。
3 [背景] タブをクリックする。
4 画像ファイルを背景にするときは、[参照] ボタンをクリックし、画像ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする。模様を選択するときは、[模様] ボタンをクリックし、模様を選択し、[OK] ボタンをクリックする。

5 [OK] ボタンをクリックする。

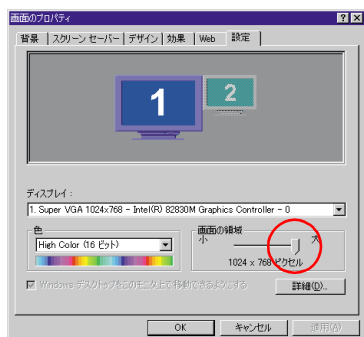
画面の文字が小さい

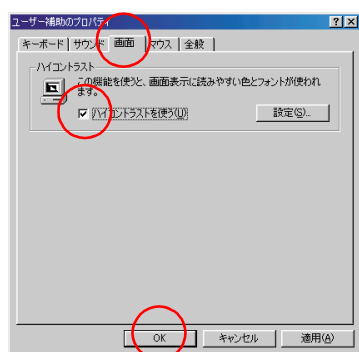
A

・ 画面に表示するフォントサイズを大きくします。

1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [設定] タブをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする。[全般] タブをクリックし、[フォントサイズ] で [大きいフォント] を選択する。

3 [OK] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックする。
4 再立ち上げのメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

・ 画面の解像度をさげます。

1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [設定]タブをクリックし、[画面の領域](画面の解像度)で「小」に変更する。

・画面のコントラストを強くします。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択し、[ユーザー補助] アイコンをダブルクリックする。
2 [画面] タブをクリックし、[ハイコントラストを使う] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする。

Q

動画の再生が終わっても、画像が残ったままになる

A

再生するアプリケーションによっては、再生を停止しても画面が残ったままになることがあります。このときは、別のウィンドウを最大化するなど画面の切り替えを行います。なお、動画ファイルを再生しているときは、MS-DOS プロンプトを起動してから Windows 側に切り替えたり、MS-DOS プロンプトのウィンドウを最大化してから終了しないでください。これらの操作を行うと、パソコンの動作が異常になることがあります。

マウスの動きがおかしい

Q

マウスがなめらかに動かない

A

マウスの内部や内部のローラーに異物が入っているか、マウスのボールが汚れています。汚れていた場合はボールを取り出し、中性洗剤を薄めた水で洗います。

参照

マウスのボールのお手入れについて
→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』3 章の「お手入れ」

Q

マウスカーソルの動きが遅い

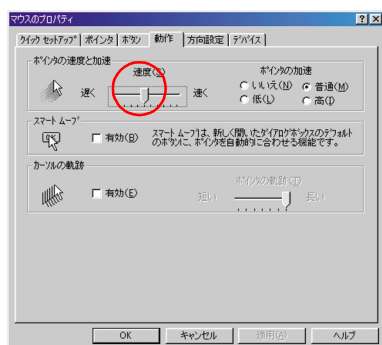
A

マウスカーソルの速度を速くします。

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択する。
2 [マウス] アイコンをダブルクリックする。
3 [動作] タブをクリックし、[ポインタの速度と加速] でマウスカーソルの動きを速くする。

Q

マウスカーソルが小さい

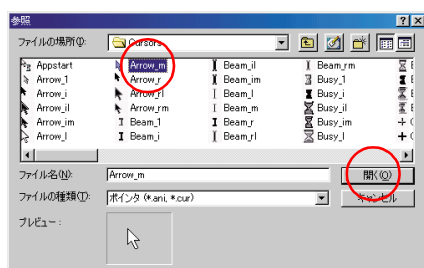
A

マウスカーソルのサイズを大きくします。

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択する。
2 [マウス] アイコンをダブルクリックする。
3 [ポインタ] タブをクリックする。
4 [通常の選択] をダブルクリックする。
5「Arrow_m」を選択し、[開く] ボタンをクリックする。

6 [OK] ボタンをクリックする。

Q

マウスのホイール機能が使えない

A

マウスのドライバーをホイールマウスドライバーに変更します。標準のタッチパッドドライバーのままでは、ホイール機能は使えません。

参照
ホイールマウスドライバーのセットアップについて→ 3 章の「ホイールマウスドライバー」(P.47)

音が聞こえない、録音できない

Q

スピーカーから音が出ない

A

・スピーカーに電力を供給します。パソコンと別に電源が必要なタイプのスピーカーの場合、電源に接続しているか、スピーカーの電源が入っているかを確認します。

・スピーカーの音量が低くなっています。ボリュームコントロールで音量を調整します。

・再生しようとする音声ファイルの録音レベルが低くなっています。適切な録音レベルに調整して録音します。

・サウンドドライバーを正常に動作させます。
1 [コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックする。
2 [システムのプロパティ] で [デバイスマネージャ] タブをクリックする。
3 リストの [サウンド､ビデオ､およびゲームのコントローラ] のドライバーに「！」マークが付いていないか確認する。「！」が付いていた場合は、ドライバーを再セットアップする。

Q

マイクで録音できない

A

・パソコンの入力端子とマイクのインピーダンスが合わないと音量が小さくなることがあります。

・マイクのジャックが、パソコンに正しく接続されていません。マイクコネクターにマイクのジャックが正しく接続されているか確認します。

・マイクの録音レベルが低くなっています。[Volume Control] でマイクの録音レベルを適切に調整して録音します。

Q

音声認識アプリケーションのマイク調整が適切に設定できない

A

マイクの感度設定が不適切です。[Volume Control] でマイクの感度を調整します。

Q

タスクバーにスピーカーのアイコンが表示されない

A

スピーカーのアイコンをタスクバーに表示する設定にします。

1 [コントロール パネル] の [マルチメディア] アイコンをダブルクリックする。
2 [オーディオ] タブをクリックする。[音量の調節をタスクバーに表示する] に、チェックマークが付いているか確認する。チェックマークが付いている場合は、Windows を立ち上げ直す。

参照

音量の調整について→ 1 章の「音量を調整する」(P.15)

参照

サウンドドライバーの再セットアップについて→ 3 章の「サウンドドライバー」(P.46)

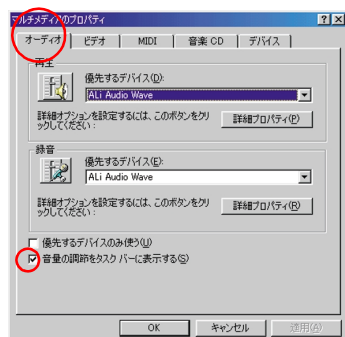
参照

インピーダンスについて→『パソコンを準備する』付録｢パソコン仕様一覧｣

参照

マイクの接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2 章の｢ヘッドホン、マイクを接続する｣

参照

録音レベルの調整について→ 1 章の「音量を調整する」(P.15)

Q

音声が途切れたり、繰り返したりする

A

ディスクに読み書きしています。ディスクに読み書きしている状態で、再生時間の長い音を再生すると、音が途切れたり、繰り返したりする場合がありますが問題はありません。Windowsの立ち上げ音が途切れる場合は、次の操作を行ってください。

・［コントロールパネル］の［マルチメディア］の［オーディオ］タブで、再生時間の短い音を設定するか、サウンド名を「なし」に設定します。

プリンターで印刷できない

Q

プリンターが使えない

A

・プリンターの電源を入れます。

・パソコンとプリンターの電源を切り、プリンターの電源を入れた後で、パソコンの電源を入れます。

・プリンターに異物や用紙がつまっています。プリンターの表示ランプを確認します。

・プリンターケーブルを正しく接続します。

・プリンターケーブルが絡んでいます。信号妨害のないように、ケーブルどうしはできるだけ離しておきます。

・プリンターをパソコンに接続したあと、［プリンタ］ウィンドウの［プリンタの追加］でプリンターを使用できるようにします。

・複数のプリンターを使用しています。使用するプリンターのアイコンを右クリックして、［通常使うプリンタに設定］にチェックマークが付いているか確認します。

参照

プリンターの接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2章の「プリンターを接続する」

Q

正しくプリントできない

A

・正しいプリンターを選びます。アプリケーションの［ファイル］ー［印刷］ダイアログボックスなどで、正しいプリンターが選ばれているか確認します。

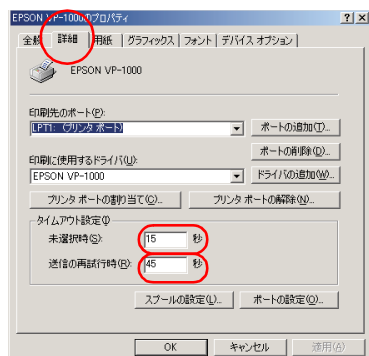
・プリンターをテストして、正しく印字できるか確認します。
［コントロールパネル］ー［プリンタ］ウィンドウで、目的のプリンターのプロパティーを開きます。［情報］タブの［印字テスト］ボタンをクリックし、テストしてその結果から原因を推測して対処します。

Q

途中までしか印刷しない

A

・用紙がなくなっていないかを確認します。

・タイムアウト時間を長く設定します。
1 ［スタート］ボタンー［設定］ー［プリンタ］を選択する。
2 使用するプリンタを右クリックし、［プロパティ］を選択する。
3 ［詳細］タブをクリックし、［タイムアウト設定］の［未選択時］と［送信の再試行時］の秒数を増やす。

CD-ROMドライブ／CD-R/RWドライブ／DVD-ROM&CD-R/RWドライブの異常

Q

DVD-ROM／CD-ROMを読み込めない

A

・そのDVD-ROM／CD-ROMの規格を確認します。Macintosh用のCD-ROMは読み込めません。

・このパソコンに付属のCD-ROMをセットし、読み込んでみてください。読み込めない場合は、ドライブ内部のピックアップレンズが汚れているかもしれません。クリーニングしてください。

・CD-R、CD-RWですか？このパソコンで作成しましたか？ ほかのパソコンで作成すると、CD-RやCD-RWは読み込めないことがあります。

参照

クリーニング方法について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』3章の「お手入れ」

Q

CD-ROM/DVD-ROMディスクをドライブに入れると「Not Ready」など準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される

A

- ドライブの準備ができていないときに表示されることがあります。CD-ROM/DVD-ROMアクセスランプが消えるまでそのまま待ちます。
- アクセスランプ消灯後やそれ以外のときにもエラーメッセージが表示されるときは、次の手順を行います。
  1 [スタート]ボタン-[設定]-[コントロールパネル]を選択する。
  2 [システム]アイコンをダブルクリックして、[システムのプロパティ]を表示する。
  3 [パフォーマンス]タブの[ファイルシステム]ボタンをクリックし、[ファイルシステムのプロパティ]を開く。
  4 [CD-ROM]タブで「先読みなし」を選ぶ。

フロッピーディスクの異常

Q

フロッピーディスクにデータが書き込めない

A

- ディスクのライトプロテクトノッチが、「書き込み禁止」側に入っています。「書き込み可能」側に倒します。
- ディスクの容量がいっぱいになっています。[マイ コンピュータ]の[3.5インチ FD]のプロパティーを開き、ディスクの容量がいっぱいになっていないか確認します。

参照

書き込み禁止について→『パソコンを準備する』2章の「ディスクを使おう」「書き込みを禁止する」

Q

フロッピーディスクからデータが読み込めない

A

- このパソコンで読み込めない種類のフロッピーディスクです。読み込めるのは、720KB/1.25MB/1.44MBのフロッピーディスクです。
- Macintoshでフォーマットされたフロッピーディスクです。
- 弊社のパソコン以外でフォーマットしたフロッピーディスクだと、読み込めないことがあります。
- フロッピーディスクがフォーマットされていません。新しいフロッピーディスクには、そのままでは使用できないものもあります。
- MS-DOSモードでは、1.25MBのFDは使用できません。Windowsでご使用ください。

Q

フロッピーディスクが認識されない

A

- フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに正しくセットします。フロッピーディスクドライブの中に引っかかっている場合は、フロッピーディスクを軽く押します。
- 別のフロッピーディスクを読み込んでみて、正しく読み込める場合は、そのフロッピーディスクが壊れています。フロッピーディスクは直射日光や磁気を発するもの、高温を避け、湿気・水にさらされないように保管します。

アクセスランプの異常

Q

FDD ランプが点灯したままになっている

A

・フロッピーディスクが壊れていませんか？　別のフロッピーディスクをドライブにセットし、[マイ コンピュータ] の [3.5 インチ FD] アイコンをダブルクリックしてフロッピーディスクを読み直してみてください。

Q

HDD ランプが点灯したままになっている

・HDD が壊れていませんか？ [スキャンディスク] を実行して HDD にエラーがないかチェックしてください。[スキャンディスク] は、[スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [システム ツール] － [スキャンディスク] をクリックすると立ち上がります。

ハードディスクのトラブル

Q

ハードディスクの空き容量が少なくなった

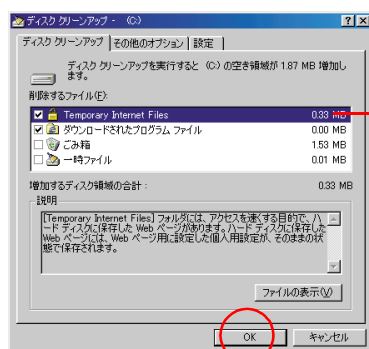
A

・ディスククリーンアップを実行してインターネット一時ファイルなどを削除します。

1 [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [システムツール] － [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] が表示される。

2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

削除するファイルを指定する

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

重 要

◎ Windows の動作が不安定になるので、ハードディスクの空き容量を 500MB 以下にしないでください。

A

・不要なファイルを削除します。

・不要なアプリケーションを削除します。

・ハードディスクを増設し、ファイルを移動します。

・MO ドライブ装置などのファイル装置を増設し、ファイルを移動します。

Q

1 台のハードディスクに、複数のドライブを作りたい

A

複数の領域 (パーティション) を作成し、フォーマットすると、複数のドライブができます。

1 FDISK コマンドを使ってパーティションを設定する。
2 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。ハードディスクの領域を設定して再立ち上げすると、新しいハードディスクのドライブアイコンが表示される。
3 フォーマットするドライブを選択し、[ファイル]-[フォーマット] を選択する。
4 [通常のフォーマット] を選択し、[開始] ボタンをクリックする。
5 確認のメッセージで [OK] ボタンをクリックする。フォーマットが開始される。フォーマットが終了すると、結果が表示される。
6 [OK] ボタンをクリックする。自動的にスキャンディスクが立ち上がるので、[開始] ボタンをクリックする。スキャンディスクが開始され、終了すると結果レポートが表示される。
7 [閉じる] ボタンを 2 回クリックする。フォーマットすると、指定したドライブの全データが削除される。

参照

複数の領域の作成について→『Windows を使えるようにする』3 章の「パーティションを設定するときは」

その他の周辺機器のトラブル

Q

取り付けたあと、周辺機器が使えない

A

・いったん周辺機器を取り外し、正しく取り付けます。

・パソコンと周辺機器の電源を切り、周辺機器の電源を入れたあとでパソコンの電源を入れます。

・ケーブルなどを正しく接続します。

・周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

参照
周辺機器の接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』の2章「周辺機器を接続する」

参照
周辺機器の接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』の2章「周辺機器を接続する」

Q

増設したメモリー容量が増えていない、起動時に表示されるメモリー容量が異常である

A

・メモリーボードを正しく取り付けます。

・[マイコンピュータ] アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。表示される [システムのプロパティ] 画面でメモリー容量を確認します。ただし、[システムのプロパティ] 画面で表示されるメモリー容量は、ビデオメモリで消費するため、実際の容量よりも少なく表示されます。

参照
メモリーボードの取り付けについて→『パソコンを準備する』3章の「メモリーボードを取り付ける」

Q

無線 LAN で通信できない

A

・無線 LAN デバイスは使える状態ですか ?[Wireless] ランプが点灯していないときは、無線 LAN デバイスは無効です。[Wireless] ボタンを押して、有効にしてください。

・「ワイヤレス LAN 設定ユーティリティ」をインストールしていますか ? インストールしていないときは、インストールしてください。

参照
インストールについて→ 3 章の「ワイヤレス LAN 設定ユーティリティ」(P.49)

・暗号 (wep) は正しく設定していますか ? アクセスポイントの暗号設定に合わせて設定してください。

Q

LAN で通信できない

A

・接続する HUB と通信モード (速度や全二重 / 半二重の設定) を合わせます。接続する HUB にオートネゴシエーション機能がない場合は、10BASE-T/100BASE-TX などの設定を正しく合わせます。

・接続している HUB の電源を入れます。

・サーバーが起動していることを確認します。

・ケーブルなどを正しく接続します。

・100BASE-TX で使用しているときは、100BASE-TX 用のケーブルをご使用ください。

・LAN ドライバーがインストールされているかご確認ください。

- ネットワークで使用するプロトコルが組み込まれているかご確認ください。
- NetWare サーバーとの接続に失敗する場合は、パソコンで IPX/SPX 互換プロトコルのフレームタイプを NetWare サーバーで使用しているフレームタイプに合わせてください。標準では「auto」です。

Q

10BASE5/10BASE-T を組み合わせたネットワークで通信できない、または遅い

A

ネットワークのトランシーバーや HUB の設定が正しくありません。10BASE5 のイエローケーブルと 10BASE-T の HUB を接続するトランシーバーの SQE スイッチが OFF に設定されているかご確認ください。その場合、トランシーバーケーブルにパソコンを直接接続しているならば、トランシーバーの SQE スイッチは ON に設定してください。
ただし、SQE スイッチを ON に設定すると、複数のメーカーのパソコンが 10BASE-T を使用している場合、LAN 機能の特性の違いで通信できないパソコンがあります。また、HUB の多段接続を行った場合、1 段目と 2 段目で通信状態が変わることがあります。

Q

データの送受信が遅くなる

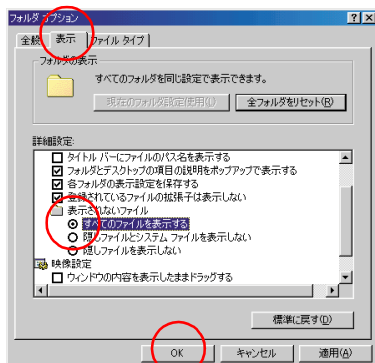
A

- HUB のコリジョンランプが点灯していませんか？　よく点灯する場合は、スイッチング HUB をご使用ください。
- Windows の MS-DOS プロンプトで、ファイルを転送していませんか？ MS-DOS プロンプトで、ファイル転送などを長時間行っていると、データの送受信が遅くなることがあります。

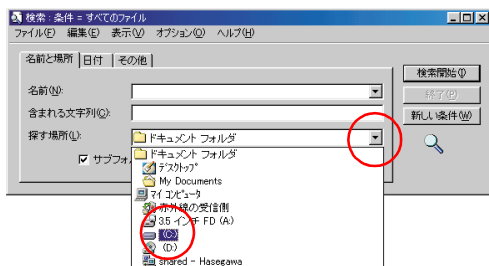
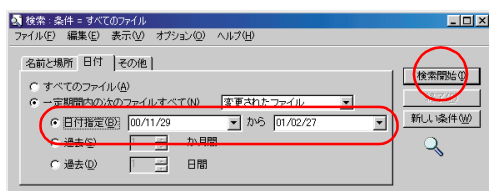
ファイルがうまく管理できない

Q

エクスプローラで探しているファイルが見つからない

- 隠しファイルに設定されています。隠しファイルを見えるようにフォルダオプションの設定を変更します。
  1 [スタート] ボタン－ [設定] － [フォルダオプション] を選択する。
  2 [表示] タブをクリックし、[詳細設定] の [表示されないファイル] を開き、[すべてのファイルを表示する] を選択する。

  3 [OK] ボタンをクリックする。

・正しいフォルダーを選択します。

・どのフォルダーに保存したか不明のときは、ファイルを検索します。
 1 [スタート] ボタン－ [検索] － [ファイルやフォルダ] を選択する。
 2 [名前と場所] タブをクリックする。
 3 [探す場所] の〔▼〕をクリックし、[C:] を選択する。ファイル名がわかれば、検索条件に追加する。

 4 [日付] タブをクリックして [日付指定] を選択し、ファイルを作成した日付を指定する。ファイルの種類がわかれば、[その他] タブをクリックし、検索条件に追加して [検索開始] ボタンをクリックする。

 5 検索されたファイルのフォルダーを確認する。

・新規文書を保存すると、文書を作成したアプリケーションのフォルダーに入ることがあるので、このフォルダーを確認する。

Q

CD-ROM/DVD-ROM からコピーしたファイルを上書きできない

A

ファイル属性の読み取り専用を解除します。
 1 エクスプローラでファイルを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
 2 [読み取り専用] のチェックを外す。
 3 [適用] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックする。
 4 エクスプローラのウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックして、エクスプローラを終了する。

インターネット使用中のトラブル

Q

インターネットに接続できない

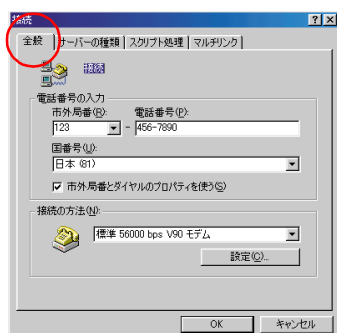
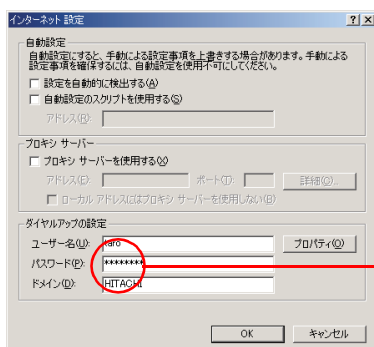
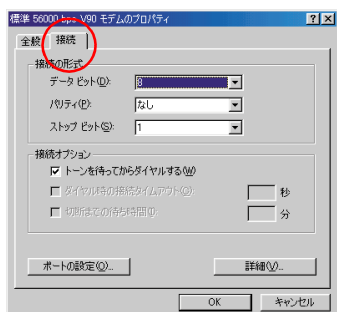
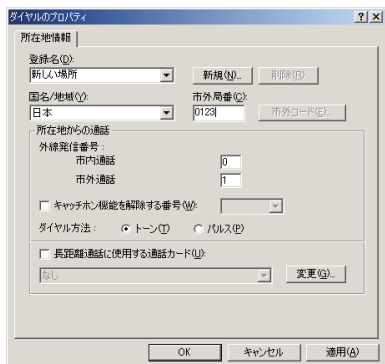
A

・外付けのモデムを使用しているときは、モデムの電源が入っているかを確認します。

・接続が混んでいる時間帯では、すぐに接続できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続します。

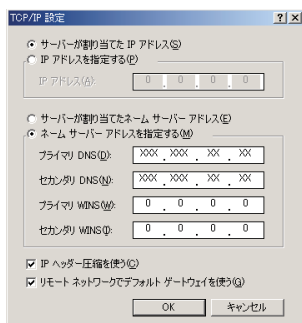
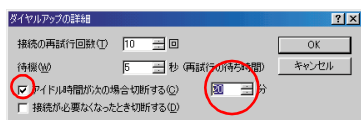
・接続先のサーバーが停止していないかを確認します。

・接続先の電話番号が変わっていないか確認します。

・設定してある接続先の電話番号を確認します。
1 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[ダイヤルアップネットワーク] アイコンをダブルクリックする。
2 使用している接続先のアイコンを選択し、[ファイル] ─ [プロパティ] を選択する。
3 [全般] タブをクリックし、市外局番と電話番号を確認する。

・ユーザー ID やパスワードを確認します。
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。
3 ユーザー名を確認し、正しいパスワードを入力する。パスワードを入力するときは小文字、大文字を確認する。

・モデムの設定が正しいかを確認します。
1 [スタート] ボタン─ [設定] ─ [コントロールパネル] をクリックする。
2 [モデム] アイコンをダブルクリックする。
3 [全般] タブをクリックし、使用しているモデムが選択されているかを確認する。
4 [プロパティ] ボタンをクリックし、[プロパティ] の [接続] タブをクリックする。

5 [全般] タブの [ダイヤルのプロパティ] ボタンをクリックし、国名 / 地域、市外局番、ダイヤル方法を確認する。

・ネームサーバーや IP アドレスなどの TCP/IP の設定を確認します。
1 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする。
2 [ダイヤルアップネットワーク] アイコンをダブルクリックする。
3 使用している接続先のアイコンを選択し、[ファイル] ー [プロパティ] を選択する。
4 [サーバーの種類]タブをクリックし、[TCP/IP設定]ボタンをクリックする。
5 IP アドレスとネームサーバーを確認する。

Q

接続中に突然回線が切れる

A

データを送受信していない状態が一定の時間以上続くと、自動的に回線が切れます。通信していない時間を長くするときは、次のようにします。
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。
3「ダイヤルアップの設定」の [詳細] ボタンをクリックする。
4 [アイドル時間が次の場合、切断する] にチェックが入っていることを確認し、アイドル時間を長くする。

・キャッチホンがかかると、通信が切れます。キャッチホン II に切り替えると解消します。

・接続先のサーバーがダウンしました。

・Outlook Express の使用時では、[送受信が終了したら切断する] をチェックしていると、メールの送受信後自動的に回線が切れます。

・回線にノイズが発生しました。

・システムスタンバイをオフにします。

Q

接続中にパソコンの電源を切ってしまった

A

電話回線は強制的に切断されます。ダウンロード中のファイルがある場合は、正常に保存されないことがあります。

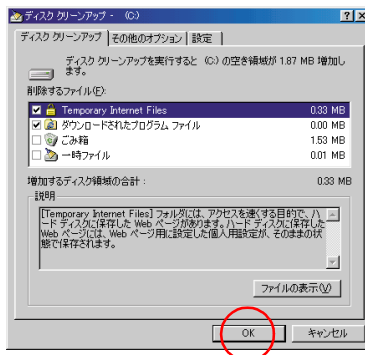
Q

ホームページが開かない

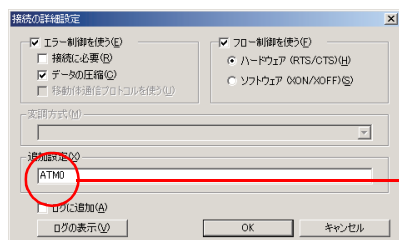
A

・URL の入力が正しいか確認します。

・指定した URL のホームページがなくなっています。

・ハードディスクの空き容量が不足しています。ディスククリーンアップの実行、不要なデータの削除などでハードディスクの空き容量を増やします。
1 [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [システムツール] － [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] 画面が表示される。
2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

・指定した URL のホームページは、インターネットエクスプローラで設定したセキュリティーのレベルの範囲外です。次の手順を行って、セキュリティーレベルを調整します。
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [セキュリティ] タブをクリックし、[Web コンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する] で、[インターネット] が選択されていることを確認する。
3 [このゾーンのセキュリティのレベル] に表示されているつまみをドラッグしてレベルを下げる。つまみが表示されていないときは、[既定のレベル] ボタンをクリックしてつまみを表示する。
4「セキュリティのレベルを変更しますか ?」という警告が表示される。[はい] ボタンをクリックする。
5 [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

Q
モデムの発信音がうるさい
A
モデムの発信音を消します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール　パネル] を選択する。
2 [モデム] アイコンをダブルクリックし、[全般] タブで使用するモデムが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
3 [接続] タブをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする。

4 [追加設定] 領域に、ATM0 と入力し、[OK] をクリックする。
5 [OK]、[閉じる] の順にクリックして終了する。

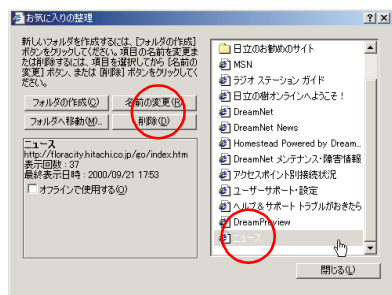
ヒント
★ 再び音を出す場合は、手順 4 で入力した「ATM0」を削除してください。

Q
転送スピードが遅い
A
・回線が混んでいます。時間帯によっては、転送スピードが遅くなる場合があります。しばらく時間をあけてからご使用ください。

・モデムの設定が間違っています。正しいモデムを選択します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール　パネル] を選択する。
2 [モデム] アイコンをダブルクリックし、[全般] タブで使用するモデムを選択する。

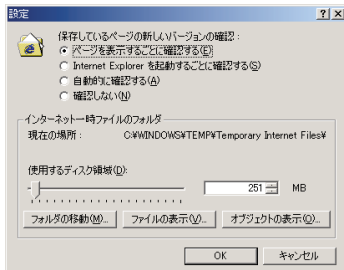
インターネットブラウザーのトラブル

Q
「お気に入り」が増えすぎた
A
・フォルダーを作成してお気に入りのページをフォルダーに移動します。

・お気に入りのページを削除します。
1 インターネットエクスプローラを起動し、[お気に入り] － [お気に入りの整理] を選択する。
2 削除するホームページを選択し、[削除] ボタンをクリックし、[はい] ボタンをクリックする。

参照
お気に入りの整理について→インターネットブラウザーのヘルプをご覧ください。

開いたホームページが更新されていない

A

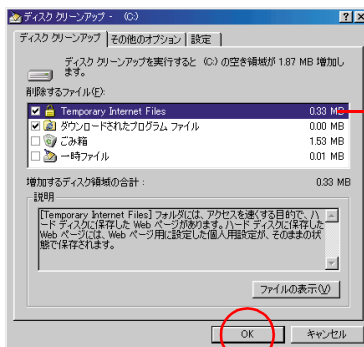
・キャッシュに保存されている一時ファイルを更新するように設定を変更します。
1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ー [インターネットオプション] を選択する。
2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [設定] ボタンをクリックする。
3 [保存しているページの新しいバージョンの確認] で [ページを表示するごとに確認する]、[Internet Explorer を起動するごとに確認する]、[自動的に確認する] のいずれかを選択する。

・一時ファイルを削除します。
1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ー [インターネットオプション] を選択する。
2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [ファイルの削除] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

・ハードディスクのクリーンアップを実行して一時ファイルを削除します。
1 [スタート] ボタンー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [システムツール] ー [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] 画面が表示される。
2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

Q

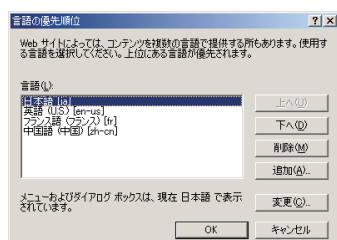
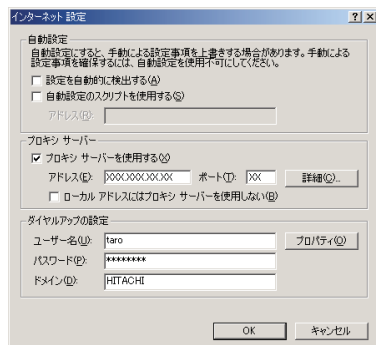
ホームページが文字化けする

A

- 表示している文字の種類を日本語に変更します。
  1 インターネットエクスプローラで、[表示] ー [エンコード] ー [日本語 (シフト JIS)] または [日本語 (自動選択)] を選択する。

- 日本語を優先して表示する設定に変更します。
  1 インターネットエクスプローラで、[ツール] ー [インターネットオプション] を選択する。
  2 [全般] タブをクリックし、[言語] ボタンをクリックする。
  3 [日本語 [ja]] を選択し、[上へ] ボタンをクリックし、一番上に移動する。[日本語 [ja]] がないときは、[追加] ボタンをクリックし、[日本語 [ja]] を選択し [OK] ボタンをクリックする。

Q

ホームページの表示が遅い

A

- プロキシサーバーを利用します。
  1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
  2 [接続] タブをクリックし、使用しているダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。
  3 [プロキシサーバーを使用する] をチェックし、アドレスとポートを入力する。

- 画像の表示をやめます。
  1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ー [インターネットオプション] を選択する。
  2 [詳細設定] タブをクリックし、「マルチメディア」の [画像を表示する] のチェックを外す。

3 [OK] ボタンをクリックする。

・ActiveX や Java を無効にします。

1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ー [インターネットオプション] を選択する。
2 [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。
3「 ActiveX コントロールとプラグインの実行」の [無効にする] を選択し、「 Java の許可」の [Java を無効にする] を選択する。
4 [OK] ボタンをクリックする。

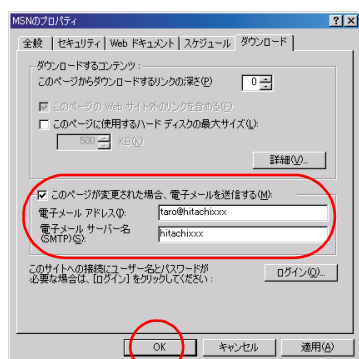
Q

ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

A

ホームページの内容が更新された通知をメールで受け取ることができます。ホームページをお気に入りに追加し、更新通知を送信するように設定します。

1 インターネットに接続し、更新された通知を送信させるホームページを表示する。
2 [お気に入り] ー [お気に入りに追加] を選択し、フォルダーを選択して [OK] ボタンをクリックする。
3 [お気に入り] ー [お気に入りの整理] を選択する。
4 更新通知を送信させるホームページを選択し、[オフラインで使用する] をチェックする。[プロパティ] ボタンが表示される。
5 [プロパティ] ボタンをクリックする。[XXX のプロパティ] 画面が表示される。
6 [ダウンロード] タブをクリックする。

7 [このページが変更された場合、電子メールを送信する] をチェックし、電子メールアドレスと電子メールサーバー名を入力し、[OK] ボタンをクリックする。

8 [閉じる] ボタンをクリックする。インターネットに接続し、同期化される。

メールの送受信がうまくいかない

Q

メールの送受信ができない

A

・サーバーが停止しているかを確認します。

・受信メール (POP3) サーバー、送信メール (SMTP) サーバー、アカウント名、パスワードが正しいか確認します。
1 Outlook Express を起動し、[ツール] ― [アカウント] を選択する。
2 [メール] タブをクリックし、使用するアカウントが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
3 [サーバー] タブをクリックし、正しい受信メール (POP3) サーバー、送信メール (SMTP) サーバー、アカウント名、パスワードを入力する。
4 [OK] ボタンをクリックする。

Q

送信したメールが相手に届いていない

A

・宛先のメールアドレスが正しいかを確認します。

・メールサーバーが停止しているかを確認します。

・添付されているデータのサイズが大きすぎ、メールサーバーで受信できる範囲を超えています。添付したデータのサイズを小さくしてもう一度送信します。

Q

受信したメールが文字化けしている

A

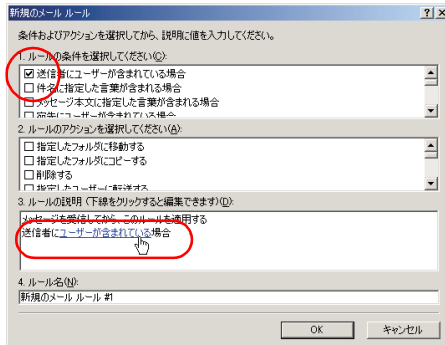
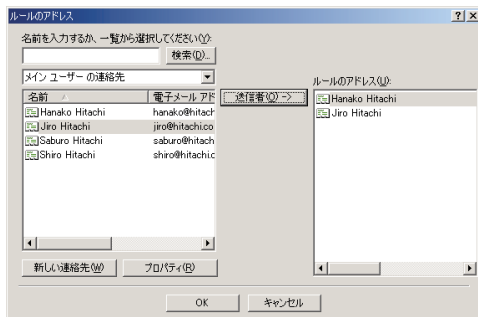
・表示するフォントを日本語にします。Outlook Express で、[表示] ― [エンコード] ― [日本語 (自動選択)] を選択します。

・添付データの送信形式を MIME の「Base 64 形式」または「なし」で送信するように送信相手に依頼します。

受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる

A

受信メールを自動的に振り分けることができます。ここでは、Outlook Express で、指定した送信者からのメールを自動的に振り分ける場合を例に説明します。

1 [ツール] ー [メッセージルール] ー [メール] を選択する。[メッセージルール] の [メールルール] タブが表示される。
2 [1. ルールの条件を選択してください] の [送信者にユーザーが含まれている場合] をチェックする。
3 [3. ルールの説明] の「送信者にユーザーが含まれている場合」をクリックする。

4 [アドレス帳] ボタンをクリックし、送信者を選択し [送信者] ボタンをクリックし、[ルールのアドレス] に表示する。他の送信者も選択する場合は、同様にする。[OK] ボタンを 2 回クリックし、[新規のメールルール] に戻る。

5 [2. ルールのアクションを選択してください] の [指定したフォルダに移動する] をチェックし、[3. ルールの説明 (下線をクリックすると編集できます)] の「指定したフォルダ」をクリックする。
6 [アイテムの移動先] で受信メールを移動するフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
7 [4. ルール名] に分類する名称を入力し、[OK] ボタンを 2 回クリックする。

その他のソフトウェアのトラブル

Q

アプリケーションのインストール時、バージョン競合のメッセージが表示された

A

通常は、[はい] ボタンをクリックして新しいファイルを使用します。アプリケーションによって個別に指示がある場合は、その指示に従います。

Q

VShield の [システムスキャンプロパティ] の [スキャン] タブで [圧縮ファイル] をチェックしても圧縮ファイルのスキャンが行われない

A

VShiled はファイルの圧縮、解凍時にスキャンを行います。

Q

VirusScan、VShield がうまく動作しない

A

- VirusScan はスケジューラでのネットワークドライブのスキャンは行いません。ネットワークドライブをスキャンするときは、[オンデマンドスキャン] をご使用ください。
- [スクリーンスキャン]、[cc:Mail スキャン] は動作しません。
- 「書き込み禁止」となっているフロッピーディスクでコンピューターウィルスを発見した場合は、フロッピーディスクのライトプロテクトノッチを「書き込み可能」側に移動してからコンピューターウィルスへの操作を行ってください。ライトプロテクトノッチが「書き込み禁止」となったまま操作を行うと、画面の表示と実際の動作が異なる場合があります。
- VirusScan コンソールの [DAT の自動アップデート] の [ログ] タブで、[ログへの記録] チェックボックスをオフにしてもログが作成されます。
- VShield の [システムスキャンプロパティ] の [アクション] に表示されている次の設定項目は、設定しても正しく動作しません。設定しないでください。
  [感染しているファイルをフォルダに移動]
  [感染しているファイルからウィルスを削除]
  [感染しているファイルを削除]

付録

アプリケーションのお問い合わせ先

表に記載されていない添付ソフトウェアについては、『パソコンを準備する』の「お使いになる前に」、「お問い合わせ先」を参照ください。

<table>
<tr><th>アプリケーション名</th><th>問い合わせ先</th><th>電話番号</th><th>FAX 番号</th></tr>
<tr><td>Microsoft Office XP</td><td>マイクロソフトスタンダードサポート</td><td>03-5354-4500
06-6347-4400</td><td>−</td></tr>
<tr><td>一太郎／ATOK</td><td>ジャストシステムサポートセンター</td><td>03-5412-3980
06-6886-7160</td><td>−</td></tr>
<tr><td>インターネットマーク</td><td>株式会社 日立製作所
公共システム事業部
インターネットマーク事業推進 G</td><td colspan="2">e-mail:
internet-marks@ml.itg.hitachi.co.jp
(e-mail のみのお問い合わせとなります)</td></tr>
<tr><td>Easy CD Creator</td><td rowspan="2">HITAC カスタマ・アンサ・センタ</td><td rowspan="2">0120-2580-12</td><td rowspan="2">−</td></tr>
<tr><td>Norton Ghost 2002</td></tr>
</table>

※2002 年 4 月 1 日現在のものです。
※インストールされているアプリケーションは、機種によって異なります。
※各ソフトウェアの責任元は、各開発元になります。
※添付ソフトウェア以外の市販のアプリケーションについては、各開発元にお問い合わせください。

さくいん

め

も

り

わ

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corp.の登録商標です。
・Intel、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

使い勝手を良くする

初 版　2002年 5月

株式会社　日立製作所

インターネットプラットフォーム事業部

〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉810 番地

NS0314000-1